

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-6

< 第27週 >

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている / その他最新動向



注目すべき感染症
P.7-9

< 手足口病 >

第27週の定点当たり報告数は9.7と前週よりも更に大きく増加し、1982年に同調査が開始されて以来最多の報告数となった



病原体情報
P.10-13

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2011年 / 手足口病患者から検出されているエンテロウイルス 2011年



速報
P.14-15

手足口病、ヘルパンギーナ、髄膜炎等からのコクサッキーウイルスA6型の検出 - 広島市



海外感染症情報
P.16-20

パキスタンにおけるポリオ / インフルエンザ



感染症の話
P.21

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(27週)
P.22-27



27週のデータ
P.28-40



発生動向総覧

< 第27週コメント > 7月13日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核381例

3類感染症

細菌性赤痢4例

菌種: *S. sonnei* (D群) 4例__感染地域: 長野県2例、インドネシア1例、バングラデシュ1例

腸管出血性大腸菌感染症102例(有症者62例、うちHUS 1例)

感染地域: 国内101例、韓国1例

国内の多い感染地域: 埼玉県8例、福岡県8例、石川県7例、新潟県6例、富山県6例、兵庫県5例、宮崎県5例*、東京都4例、京都府4例、熊本県4例、秋田県3例、栃木県3例、福井県3例

* 保育園に関連した集団感染例を含む(O26 VT1)

年齢群: 0歳(3例)、1歳(3例)、2歳(5例)、3歳(3例)、4歳(4例)、5歳(5例)、6歳(4例)、7歳(2例)、9歳(2例)、10代(14例)、20代(12例)、30代(17例)、40代(9例)、50代(7例)、60代(5例)、70代(6例)、80代(1例)

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(38例)、O157 VT2(16例)、O26 VT1(15例)、O121 VT2(4例)、O26 VT1・VT2(3例)、O145 VT2(3例)、O157 VT不明(3例)、O26 VT不明(2例)、O91 VT1(2例)、O103 VT1(2例)、O157 VT1(2例)、O111 VT1・VT2(1例)、O111 VT1(1例)、O145 VT1(1例)、O165 VT2(1例)、その他・不明(8例)

累積報告数: 1,296例(有症者881例、うちHUS 51例、死亡7例)

腸チフス1例

感染地域: 福岡県

4類感染症

A型肝炎1例

感染地域: 東京都

オウム病1例

感染地域: 東京都__感染源: インコ

つつが虫病1例

感染地域: 岩手県

デング熱3例

感染地域: マレーシア2例、モルディブ1例

日本紅斑熱2例

感染地域: 徳島県1例、宮崎県1例

ブルセラ症1例

感染地域: 愛知県__感染源: 職業(獣医師)上の動物からの感染

ライム病1例

感染地域: 山梨県

レジオネラ症16例(肺炎型16例、うち1例死亡)

感染地域: 埼玉県2例、宮城県1例、福島県1例、神奈川県1例、岐阜県1例、静岡県1例、奈良県1例、島根県1例、広島県1例(温泉)、佐賀県1例、国内(都道府県不明)5例(うち1例温泉)

年齢群: 20代(1例)、40代(1例)、50代(3例)、60代(6例)、70代(3例)、80代(2例)

5類感染症

アメーバ赤痢13例(腸管アメーバ症10例、腸管外アメーバ症2例、腸管及び腸管外アメーバ症1例)

感染地域: 神奈川県1例、新潟県1例、愛知県1例、熊本県1例、国内(都道府県不明)7例、インドネシア1例、国内(都道府県不明)1例、国外(国不明)1例

感染経路: 経口感染2例、性的接触1例(異性/同性間)、不明10例

ウイルス性肝炎4例 B型4例__感染経路: 性的接触3例(異性間2例、異性間・同性間不明1例)、不明1例

急性脳炎3例 病原体不明3例__年齢群: 0歳(2例)、6歳(1例)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例

年齢群: 10代(1例)、40代(1例)

後天性免疫不全症候群21例(AIDS 4例、無症候13例、その他4例)

感染地域: 国内17例、中国1例、国内/フィリピン1例、国内・国外不明2例

感染経路: 性的接触18例(異性間5例、同性間12例、異性間・同性間不明1例)、刺青1例、不明2例

梅毒11例(早期顕症I期1例、早期顕症II期4例、晩期顕症1例、無症候5例)

破傷風3例 年齢群: 70代(3例)

バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

遺伝子型: Van C__菌検出検体: 尿

風しん7例(検査診断例6例、臨床診断例1例)

感染地域: 福岡県4例、神奈川県1例、愛知県1例、三重県1例

年齢群: 20～24歳(1例)、25～29歳(3例)、30～34歳(2例)、35～39歳(1例)

累積報告数: 242例(検査診断例180例、臨床診断例62例)

麻しん13例(麻しん(検査診断例1例、臨床診断例5例)、修飾麻しん(検査診断例7例))

感染地域: 国内13例

国内の感染地域: 埼玉県4例、兵庫県2例、東京都1例、愛知県1例、京都府1例、広島県1例、国内(都道府県不明)3例

年齢群: 0歳(1例)、1歳(2例)、2歳(2例)、5～9歳(1例)、15～19歳(1例)、20～24歳(1例)、30～34歳(1例)、35～39歳(1例)、40代(2例)、50代(1例)

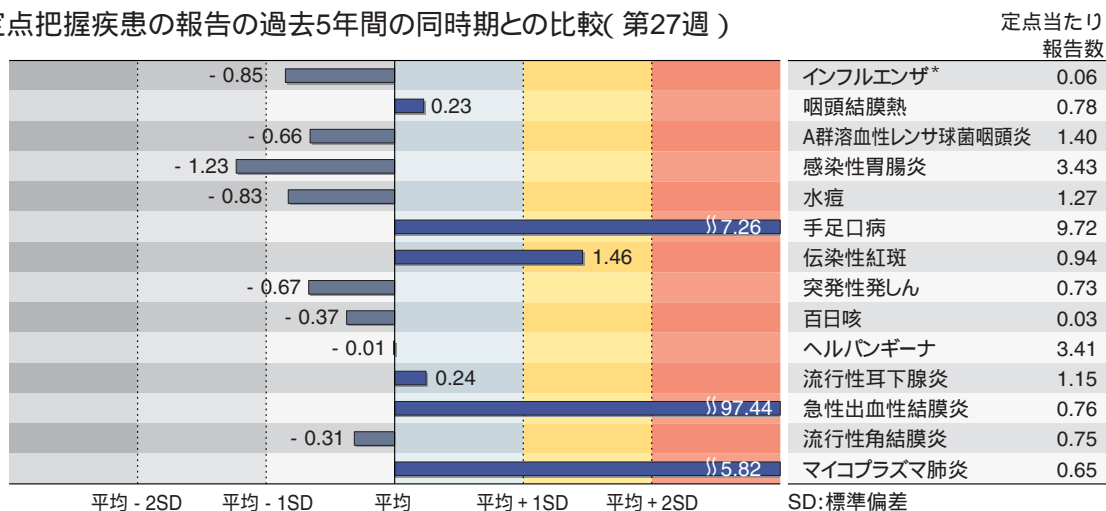
累積報告数: 353例(麻しん(検査診断例170例、臨床診断例75例)、修飾麻しん(検査診断例108例))

(補)他に2011年第26週までに診断されたものの報告遅れとして、E型肝炎1例(感染地域(感染源): 北海道(不明))、日本紅斑熱4例(感染地域: 愛媛県2例、和歌山県1例、長崎県1例)、マalaria2例(熱帯熱1例__感染地域:ウガンダ、三日熱1例__感染地域:インド)、急性脳炎7例(突発性発疹1例(0歳)、RSウイルス1例(1歳)、ムンプスウイルス1例(9歳)、病原体不明4例(0歳__3例、3歳__1例、死亡))、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例(遺伝子型:不明__菌検出検体:血液)などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第27週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。(*2009年のパンデミックの影響を受けています。)

インフルエンザ

定点当たり報告数は第17週以降減少が続いている。都道府県別では沖縄県(1.71)、鹿児島県(0.38)、福島県(0.24)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は411例と3週連続で増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約76%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別では滋賀県(2.19)、埼玉県(1.72)、富山県(1.62)、静岡県(1.62)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第24週以降減少が続いている。都道府県別では北海道(2.46)、埼玉県(2.35)、高知県(2.17)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第23週以降減少が続いている。都道府県別では大分県(7.1)、福井県(6.0)、山形県(5.8)が多い。

水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では宮崎県(2.08)、北海道(2.03)、大分県(2.00)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では佐賀県(42.3)、福岡県(41.0)、熊本県(32.7)、愛媛県(31.0)、山口県(26.8)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では福島県(2.35)、宮崎県(2.33)、栃木県(2.02)、長野県(1.95)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では栃木県(0.15)、沖縄県(0.15)、千葉県(0.09)が多い。

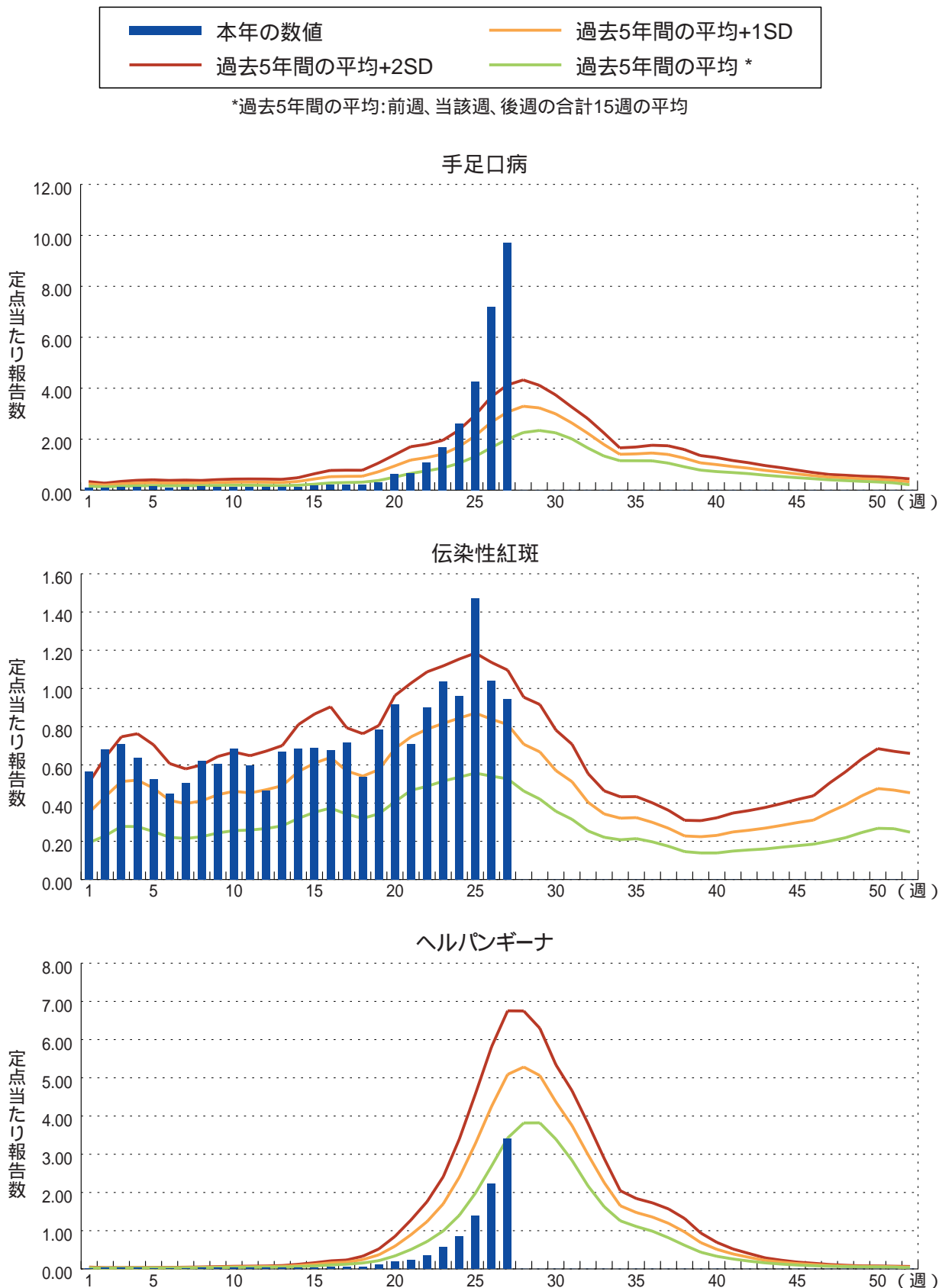
ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別では宮崎県(10.9)、徳島県(8.4)、熊本県(8.1)、鹿児島県(7.0)が多い。

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では長野県(4.40)、鹿児島県(3.56)、愛媛県(3.24)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では青森県(2.50)、愛媛県(2.00)、沖縄県(2.00)、宮城県(1.67)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2011年第27週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

手足口病

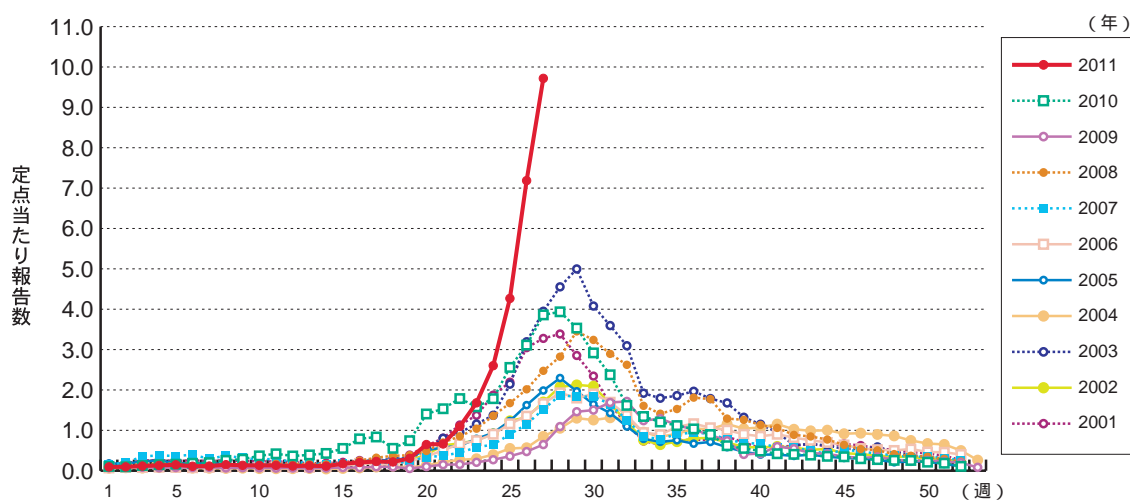
手足口病(hand, foot, and mouth disease : HFMD)は、口腔粘膜および手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス性感染症であり、乳幼児を中心に主に夏季に流行する疾患である。高熱が続くことはあまりなく、基本的には数日間の内に治癒する予後良好の疾患であるとされている。しかし稀ではあるが、髄膜炎、小脳失調症、脳炎などの中枢神経系の合併症などのほか、心筋炎、急性弛緩性麻痺などの多彩な臨床症状を呈することが以前より知られている。

病原ウイルスは主にコクサッキーA16(CA16)、エンテロウイルス71(EV71)であり、その他CA6、CA9やCA10などのエンテロウイルスによっても発症する。手足口病の感染経路は飛沫感染、接触感染、糞口感染であり、保育園や幼稚園などの乳幼児の集団生活施設における感染予防は手洗いの励行と排泄物の適正な処理が基本となる。手足口病の病原ウイルスに感染しても全員が典型的な症状を呈するものではなく、不顕性感染例も存在することから、発症して診断された者を隔離しても効果的な対策とはならないと考えるべきである。また、主要症状が回復した後も比較的長期間にわたって児の便などからウイルスが排泄されることがあるが、基本的には軽症疾患であることを踏まえ、回復した児に対して長期間の欠席を求めることは現実的ではない。

手足口病は例年4月頃から患者数が増加し始め、流行のピークは7月の中旬か下旬となり、8月に入ると減少していく、という経過を辿る。

感染症発生動向調査では、全国約3,000カ所の小児科定点からの報告に基づいて手足口病をはじめとする各種小児科疾患の発生動向を分析している。手足口病の報告数は2011年第19週以降増加が続いており、第27週の定点当たり報告数は9.7(報告数30,506)と前週(定点当たり報告数7.2)よりも更に大きく増加し、1982年に同調査が開始されて以来最多の報告数となった(図1)。都道府県別では佐賀県(42.3)、福岡県(41.0)、熊本県(32.7)、愛媛県(31.0)、山口県

図1. 手足口病の年別・週別発生状況(2001～2011年第27週)



(26.8) 兵庫県(24.7) 徳島県(21.8) 長崎県(18.8) 大分県(17.3) 福井県(16.2)の順となっており、39都道府県で前週の報告数よりも増加がみられている。手足口病の流行は西日本のほぼ全域と中部の一部地域で大きく、また首都圏や東北の一部でも大きな増加がみられている(図2)。2011年第1~27週の定点当たり累積報告数は30.4(累積報告数95,102)であり、年齢群別では0~1歳の報告割合が38.7%と例年と比べて高い割合となっている(図3)。

図2. 手足口病の都道府県別定点当たり報告数の推移(2011年第25~27週)

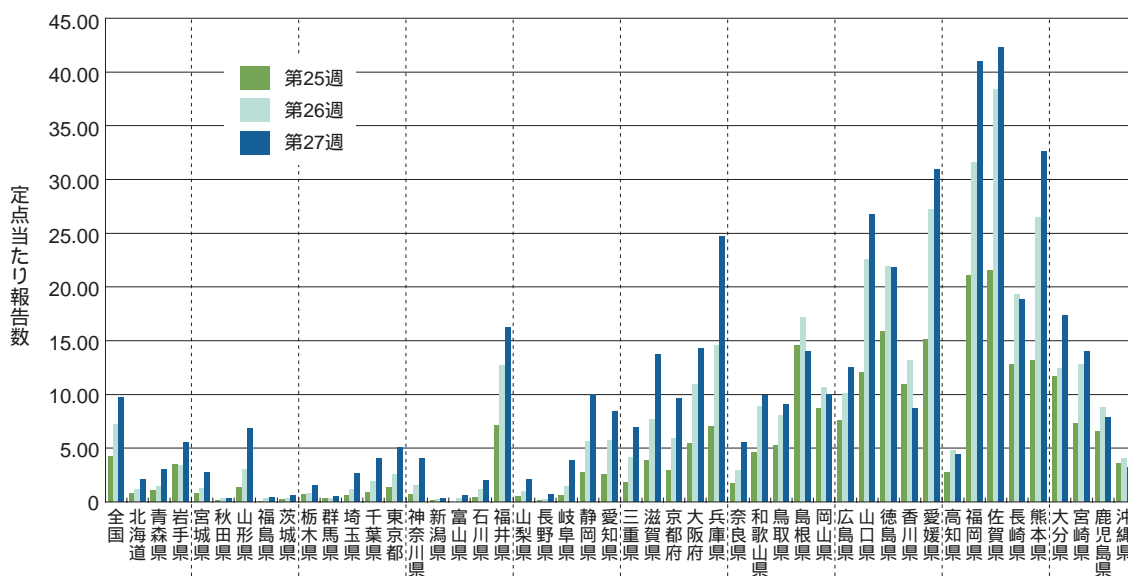
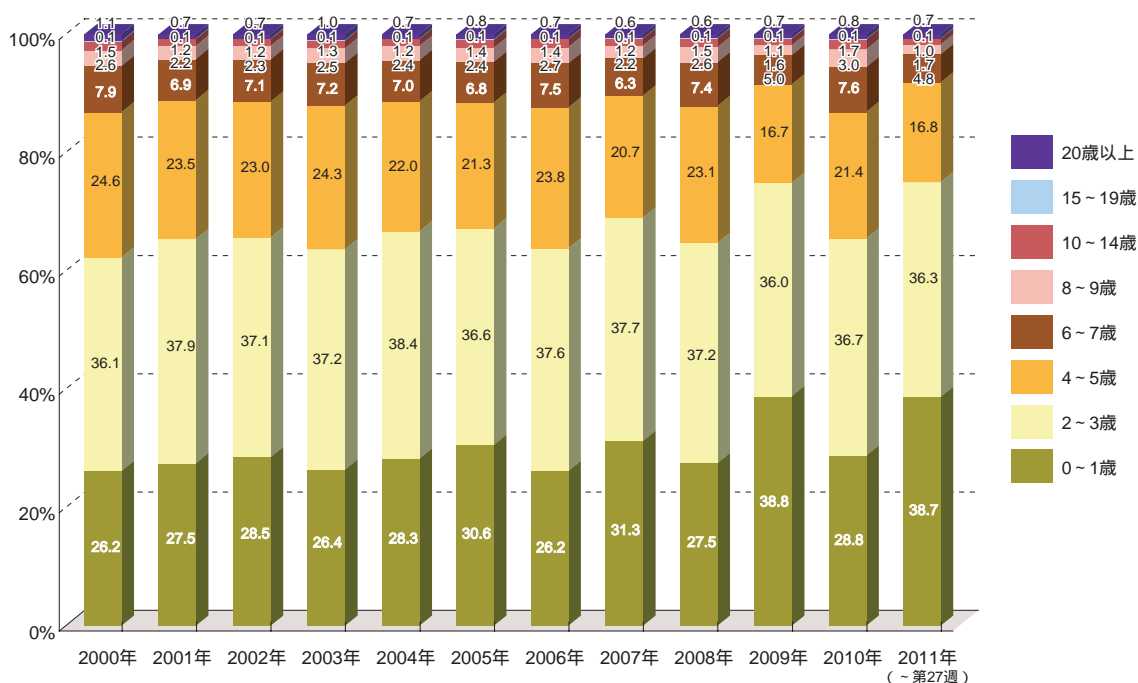
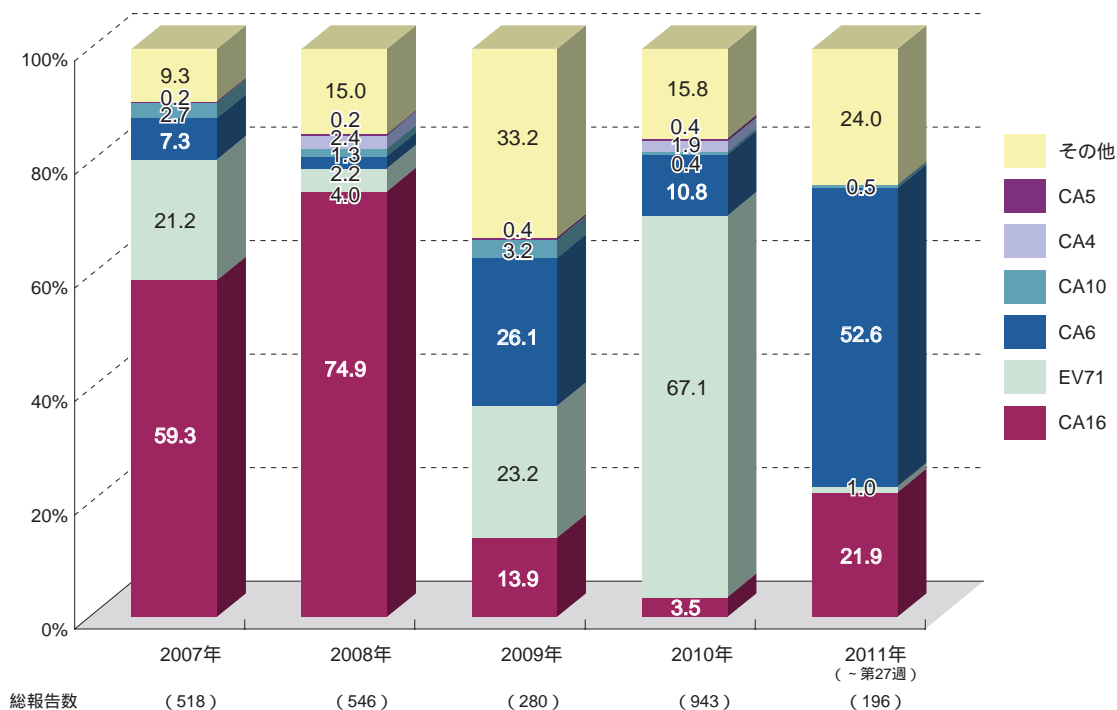


図3. 手足口病の年別・年齢群別割合(2000~2011年第27週)



手足口病の原因ウイルスは、CA16とEV71が代表的であるが、2011年は現時点(2011年7月19日現在)での総検出報告数196件中、CA6が103件(52.6%)と患者から検出されたウイルスの半数以上を占めている(図4)。

図4. 手足口病由来ウイルス分離・検出報告割合(2007～2011年第27週)



臨床現場からの報告では、本年国内で流行している手足口病の臨床的特徴は、発症初期に高熱を発することが少なく、また昨年までみられていた典型的な発症例と比べて発疹が大きく、四肢末端に限局せずに広範囲に認められる症例が目立つといった情報が寄せられている。過去10年間の発生動向をみると、例年手足口病の流行は第28週または第29週にそのピークを迎えることが多く、本年も間もなくピークとなるものと推察される。手足口病の流行の推移については、今後も注意深く観察する必要がある。



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

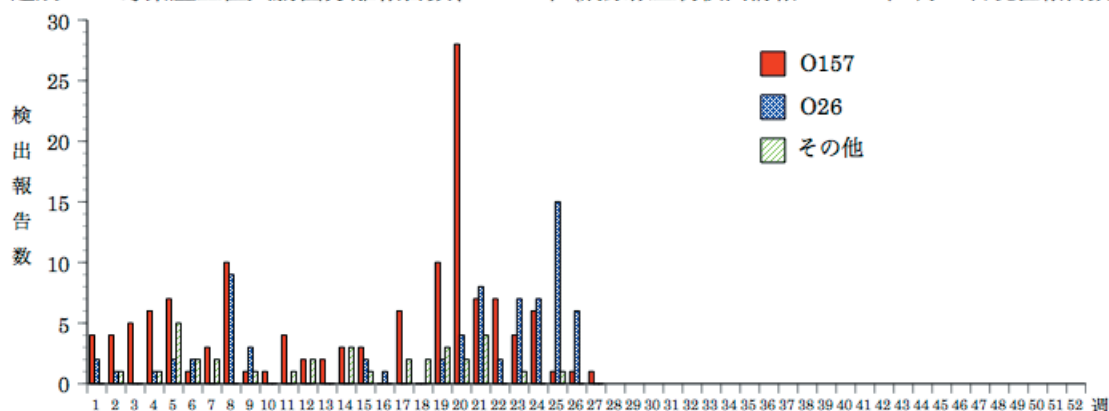
国立感染症研究所・感染症情報センターには各都道府県市の地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」と「集団発生病原体票」が報告されています。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれています。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2011年7月14日現在報告分)

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2011年

2011年第1～27週までの検出総数は235件で、第22週以降では、第22～24週に山形県の保育園集団発生例からO157(VT1&VT2)5件、第23～26週に富山県の食中毒集団発生例からO26(VT1)が27件検出されている。

週別Vero毒素産生性大腸菌分離報告数、2011年(病原微生物検出情報:2011年7月14日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

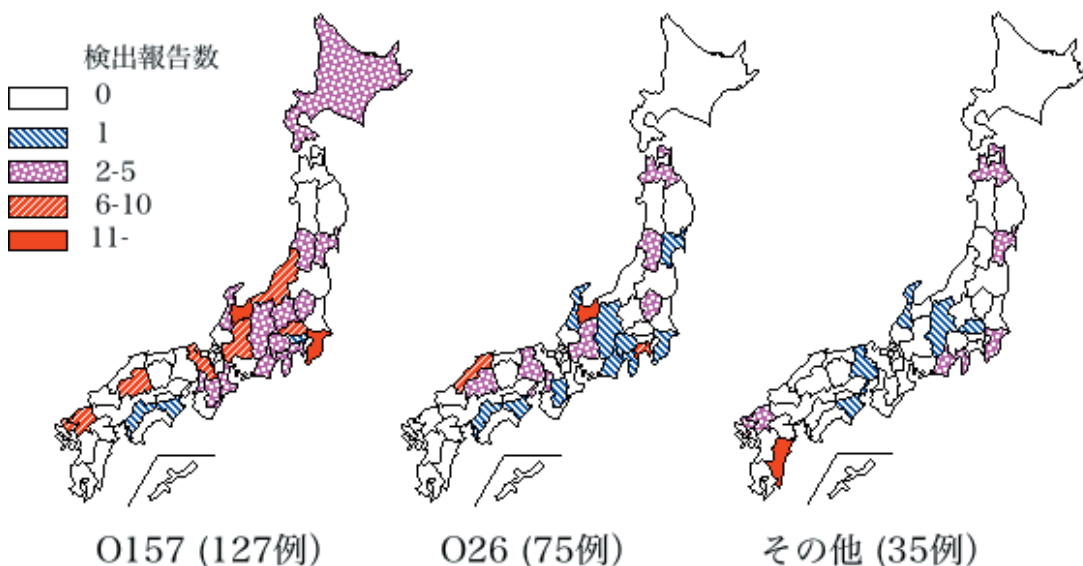


Infectious Agents Surveillance Report

2011年1～7月にO157が25都道府県から127件、O26が19府県から75件、その他の血清型が12県から35件報告されている。

都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2011年

(病原微生物検出情報：2011年7月14日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した



手足口病患者から検出されているエンテロウイルス 2011年

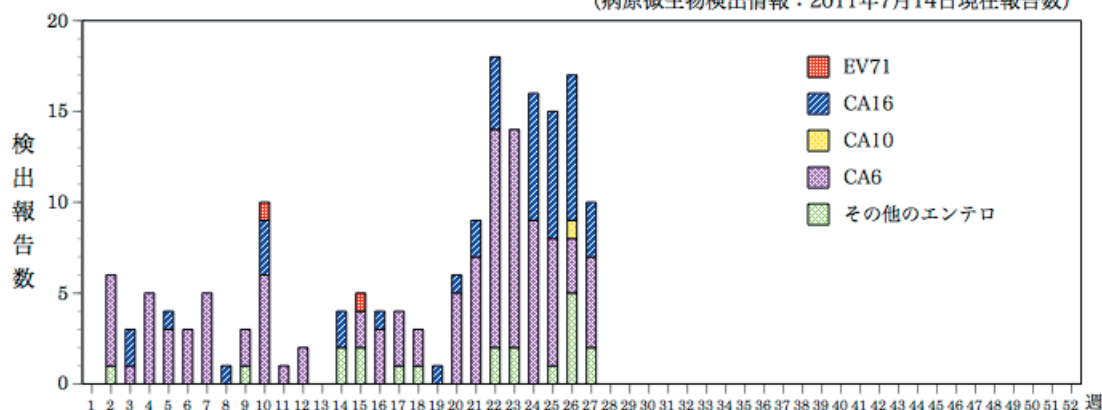
エンテロウイルス71型(EV71)は熊本県から第10週と第15週に各1件が報告されている。

A群コクサッキーウイルス(CA)16型は第3～27週に佐賀県15件、大分県9件、岩手県、大阪府、香川県、福岡県各3件、愛知県2件など43件の検出が報告されている。

その他のCAではCA6が第2～27週に高知県28件、兵庫県18件、和歌山県14件、大阪府10件、島根県7件、佐賀県6件、福岡県4件、山口県3件、滋賀県、京都府各2件など103件(本号14ページ「速報」参照)、CA10が第26週に千葉県で1件報告されている。

週別手足口病患者からのエンテロウイルス分離・検出報告数、2011年

(病原微生物検出情報：2011年7月14日現在報告数)

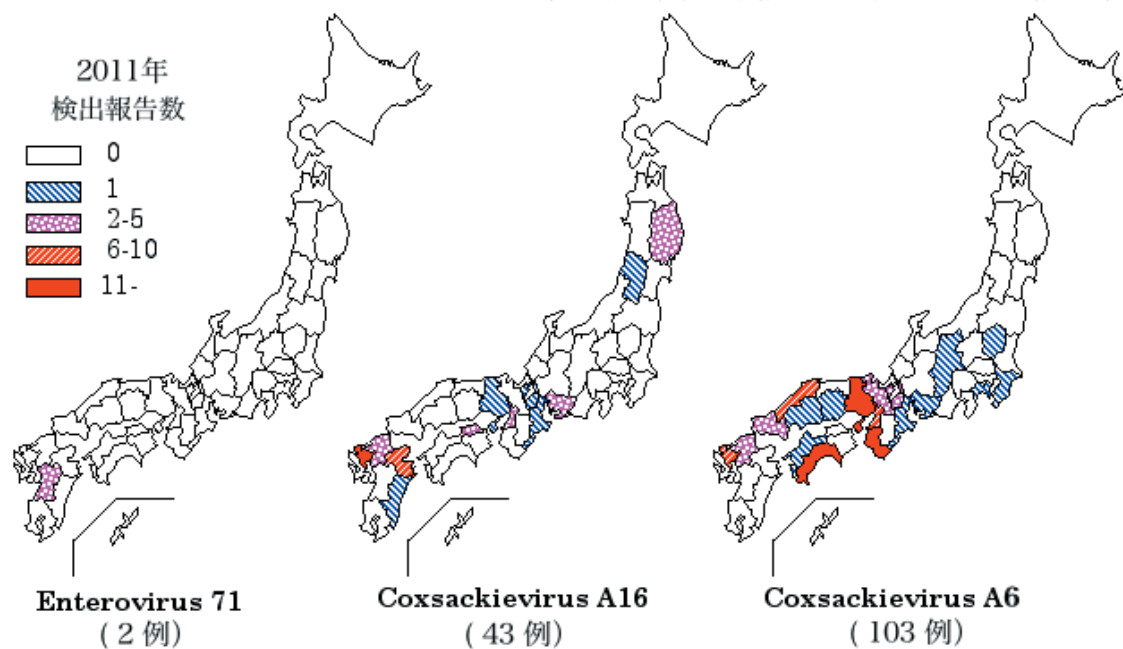


*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別手足口病患者からのエンテロウイルス71型、コクサッキーウイルスA16型、
コクサッキーウイルスA6型分離・検出報告状況、2011年
(病原微生物検出情報：2011年7月14日現在報告数)



*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance Report



手足口病、ヘルパンギーナ、髄膜炎等からのコクサッキーウイルスA6型の検出 - 広島市

2011年の広島市における手足口病の定点医療機関からの患者報告数は、第16週から増加傾向を示し、第27週には定点当たりの患者報告数が16.7人に達し、例年に比べ多い状態で推移している。手足口病は、数年おきに比較的大きな流行になる傾向があり、特に2003年と2005年の夏は大流行した。今年も2005年以来の大きな流行となっている。

当所では、麻疹等の鑑別診断や細胞培養での未分離に対応するため、検査依頼票の症状に発疹、水疱、髄膜炎、けいれん等の記載がある場合にはエンテロウイルス(EV)リアルタイムPCRを実施している。今回、広島市での手足口病流行にあわせて、手足口病だけでなく他の疾患からもコクサッキーウイルスA6型(CA6)が検出されたので報告する。

検体は咽頭ぬぐい液、鼻汁、髄液、糞便等を用い、RNA抽出、ランダムプライマーによりcDNAを合成後、EVリアルタイムPCR¹⁾を実施した。陽性の検体はさらにVP4-VP2部分領域を増幅するEVP4/OL68-1²⁾プライマー、もしくはVP2部分領域を増幅する(Nasriらの方法³⁾)1st AM1112/3132プライマー、2nd AM2122/3132プライマーでPCR後、ダイレクトシーケンスにより塩基配列を決定した。

患者の詳細および検査結果は表(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/rapid/graph/pt37831.gif>)のとおりである。決定した塩基配列をBLAST検索した結果、CA6(AY421764)と82%の相同性で、その他のEVとの系統樹解析と併せてCA6と決定した。今回検出した株内では292塩基中1～4塩基の違いがみられたが、アミノ酸変換後は2010年検出株も併せて100%一致した。手足口病患者6名、ヘルパンギーナ2名、その他の発疹症3名のほか、脳症、髄膜炎、けいれん患者各1名からもCA6が検出された。リアルタイムPCRのct値が40以下であれば、その後のシーケンスのためのPCRで検出可能であったが、40を超えるct値ではsemi-nested PCRでも検出できなかった。また、EVP4/OL68-1プライマーでは検出されないことが多く、Nasriらの方法では1stPCRの段階でも十分にバンドは確認できた。

手足口病流行時、その中でもEV71流行時には無菌性髄膜炎や脳炎等の重篤な疾患の原因となる可能性があると考えられるが、今回のCA6でも同様な注意が必要かもしれない。また、A群コクサッキーウイルスは細胞培養では分離されないことが多いため、手足口病やヘルパンギーナだけでなく、その他のEVが疑われる疾患についても、リアルタイムPCRを積極的に活用し、病原検索を行う必要があると思われる。

参考文献

- 1) Corless CE, *et al.*, J Med Virol 67(4): 555-562, 2002
- 2) Ishiko H, *et al.*, J Infect Dis 185: 744-754, 2002
- 3) Nasri D, *et al.*, J Clin Microbiol 45: 2370-2379, 2007

広島市衛生研究所生物科学部

阿部勝彦 山本美和子 藤井慶樹 田中寛子 橋本和久 笠間良雄

広島市感染症情報センター

片岡真喜夫 吉貞奈穂子

(IASR 2011年8月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

*WHOのEPRC (Epidemic and Pandemic Alert and Response) による、感染症アウトブレイクニュース等を掲載しています。

パキスタンにおけるポリオ

2011年7月7日

パキスタンは、連邦直轄部族地域 (Federally Administered Tribal Areas : FATA) カイバル管区 (Khyber Agency) の紛争被害がありアクセス困難な地域において、2011年6月9日に麻痺を発症した16カ月の小児から野生型ポリオウイルス (wild poliovirus : WPV) 3型が検出されたことを報告した。これは2011年にアジアで報告された唯一のWPV3の症例である。アジアにおけるWPV3の感染は排除が目前に迫っており、前回の症例が同じカイバル管区から6カ月以上前の2010年11月18日に報告されているのみであった。

パキスタンの部族地域でのWPV3感染伝播継続の確認は、特にアジアにおいてはWPV3の排除が目前にあることから、この株の根絶に向けた世界的な取り組みに対し大きな意味を持つ。パキスタンでのWPV3の検出は、WPV3がないアジアやその他の地域への感染拡大のリスクを示している。世界的に見れば、WPV3の流行は2011年は歴史的にみて低いレベルにあり、西アフリカ (コートジボワール、ギニア、マリ、ニジェールで17症例)、ナイジェリア (5症例)、チャド (3症例) に限定されている。しかし、特にパキスタン国内、パキスタン・アフガニスタン間の大規模な人の移動、また今後数カ月の内に行われるウムラ (サウジアラビアのメッカへの小巡礼) やハッジ (同大巡礼) に関連した大規模な人の移動に鑑み、WHOはWPV3が更に広がるリスクは高いとみている。

2011年のパキスタンでの補足的ワクチン接種活動 (supplementary immunization activities : SIAs) は、主要なハイリスク地域で質的に不十分であり、紛争被害地域で多くの子供へアクセスができなかった。連邦直轄部族地域、特にカイバル管区では、過去2年間、約50%の子供がSIAの際に常にワクチンを受けられなかった。カイバル・パクトゥンクワ州 (Khyber Pakhtunkhwa) の不安定な地域と連邦直轄部族地域での子供へのアクセスの問題に加え、カイバルのアクセス可能な地域や、国内の他の重要な感染地域であるバローチスターン州 (Balochistan) とシンド州 (Sindh) においても、実施に係る諸課題のためSIAの質が担保されていない。アジアでの2011年の唯一のWPV3の検出に加え、パキスタンでは全土にわたってWPV1の感染が起きている (2011年7月5日現在でWPV1が57症例確認されている。2010年の同時期では14症例であった。)

この状況に迅速に対応するため、パキスタン政府は本年大統領名で国家ポリオ緊急行動計画を策定した。しかしながら、ポリオ根絶に向けた進捗状況を独立して監視するために2010年のWHO総会の求めに応じ設立された独立監視委員会 (Independent Monitoring Board : IMB) は、2011年4月にこの計画は実行に時間がかかりすぎていると警鐘を鳴らしており、また、2011年6月に東地中海地域の技術的助言グループ (Technical Advisory Group : TAG) も同様の結論を出している。

両方の野生型ポリオウイルス株に対する免疫を迅速につけるため、短期間追加接種戦略 (Short Interval Additional Dose Strategy : SIAD) SIAが2価の経口ポリオワクチンを用いてカイバル管区で実施されており、第1回目が7月4日になされ、第2回目が7月12日に予定されている。直近の6月中旬に行われたSIA時のように、カイバル管区の対象小児の45% (89,449人) (うち80% (73,000) がバラテシル地域 (Bara Tehsil)) がSIADの間もアクセス不可能であることが予想されている。国家予防接種デー (National Immunization Days : NIDs) も2価の経口ポリオワクチン (1型と3型) を用い7月18～20日に実施される。しかしながら、成功への鍵は、アクセスが良い地域での実行上の問題を克服することと、不安定な地域での住民の参加を増やすための特別な普及啓発戦略を実施することにある。アフガニスタンへのWPV3の再侵入のリスクを低減するため、パキスタン

との国境地域も含めた地域予防接種デー(Subnational Immunization Days : SNIDs)が 7月10～12日に2価の経口ポリオワクチンを用い実施される。

ポリオウイルスの侵入を迅速に探知し、また侵入が起きた際に直ちに対応をするため、アジア及び東地中海地域の国々がAFPサーベイランスを強化することが重要である。また、いかなる侵入にも対応するため、ポリオの全ての株に対するルーチンの予防接種を引き続き強化しなければならない。

WHOの「国際渡航と健康」に示されている勧告に基づき、パキスタンへの又はからの旅行者はワクチンにより完全に守られるべきである。過去に3回以上の経口ポリオワクチンの接種を受けた旅行者は、出発前にもう1回接種を受けるべきである。接種を受けたことがないパキスタンへの旅行者は、全ての接種スケジュールを済ませるべきである。パキスタンからの旅行者も、出発前の最低1回の経口ポリオワクチン接種も含め、ポリオの接種スケジュール全てを済ませるべきである。いくつかのポリオフリーの国は、パキスタンからの旅行者に対し、入国査証を発給するためポリオワクチンの接種を義務付けている。

ハッジとウムラの季節がすでに始まっており、ウムラは8月のラマダン(断食月)に、ハッジは11月初旬に増えることが予想されている。サウジアラビアは、ウムラとハッジのあらゆる年齢の全ての旅行者に対しワクチンの接種を義務付けている。これらの義務はWHOの「国際渡航と健康」での勧告に合致するものであり、更に、ポリオ蔓延国からのすべての年齢層の旅行者は、サウジアラビアへの到着6週間前に経口ポリオワクチンの接種を受けたことを示す証明書を提示することが求められ、到着時に経口ポリオワクチンの追加接種を受けることとなる。

インフルエンザ

2011年7月15日 - 更新138

【要約】

- ・北半球の温帯地域諸国におけるインフルエンザの活動性は、流行間期に見られるベースラインレベルを維持している。
- ・熱帯地域諸国においては低いレベルの活動性の報告がほとんどであるが、アメリカ、アフリカ西部およびアジア南部諸国においては、若干の感染伝播が報告されている。
- ・南アフリカ共和国はインフルエンザ流行期であり、まもなく流行のピークを迎えると思われる。南アフリカにおける重症例については、現在その詳細が報告されている(以下参照)。オーストラリアでは、インフルエンザ様疾患(ILI)の受診数と確定症例数の著明な増加がみられ、インフルエンザシーズンが始まったと考えられる。州によって差は見られるものの、オーストラリア全土においてインフルエンザウイルス A(H1N1)2009が最も多く検出されている。

【北半球の温帯地域諸国】

北半球温帯地域でのインフルエンザシーズンは終息した。北米、欧州、北アフリカ及び北アジア諸国のほとんどすべてにおいて、インフルエンザの活動性報告は低レベルか全くない状況にある。

【熱帯地域諸国】

熱帯地域諸国でのインフルエンザの活動性は全体として低いレベルにあるが、いくつかの地域においては活発な感染伝播が見られており、西アフリカや南アジアにおいて最も顕著である。カリ

ブ海疫学センター(Caribbean Epidemiology Centre : CAREC)管轄の諸国においては、重症急性呼吸器感染症(SARI)による入院の割合が少し増加している。SARIによる死亡は報告されていないが、全入院患者の約3%は6～48カ月の小児におけるSARIである。ドミニカでは、呼吸器系ウイルスが陽性となる検体の割合は徐々に減少しているが、この3月後半以来インフルエンザウイルスA(H1N1)2009 の検出が最も多かった。中米諸国ではインフルエンザウイルスの活動性はまったく報告されていない。コロンビアでは、インフルエンザウイルスA(H1N1)2009 及びインフルエンザウイルスA(H3N2)の地域内伝播が低いレベルで見られている。ブラジルでは、特に南部、南東部及び中西部においてインフルエンザ症例数の増加が報告されており、A(H1N1)2009を含むインフルエンザウイルスが検出されている。

サハラ以南のアフリカにおいては、西部東部アフリカともインフルエンザウイルスB型が継続して優位である。ガーナでは主にインフルエンザウイルスB型優位の活発な伝播が、少数のインフルエンザウイルスA(H1N1)2009と混在して見られている。非常に少数であるが、インフルエンザウイルスB型の症例がナイジェリアとカメルーンで報告されている。ケニアとウガンダにおける流行は低いレベルとなり、ルワンダで以前に報告されたインフルエンザウイルスA(H3N2)の地域内伝播もまた非常に低いレベルにまで減少した。

アジアの熱帯諸国でのインフルエンザの活動性は、いくつかの地域限局的な感染伝播は見られるものの全体として引き続き低い状況にある。少数例のインフルエンザウイルスA(H1N1)2009 がインドから報告され、未確認であるが南部で患者が発生しているとのメディア情報がある。シンガポールにおいては、ILIはポリクリニック(Polyclinic)を受診する急性呼吸器疾患例のわずか2%であり、低いレベルと考えられるが、過去4週間においてはILI症例の51%がインフルエンザウイルス陽性であった。ILI症例から検出されたインフルエンザウイルスの83%はインフルエンザウイルスA(H3N2)で、インフルエンザウイルスA(H1N1)2009とインフルエンザウイルスB型はそれぞれ陽性例の11%、6%であった。

【南半球の温帯地域諸国】

・南アメリカ地域

南アメリカ温帯地域諸国でのインフルエンザ流行は低いレベルにある。チリではILIの活動性は前週より低く、インフルエンザによる死亡も報告されておらず、さらにインフルエンザウイルスの検出は、他の呼吸器系ウイルスに比して低かった。アルゼンチンにおいては、呼吸器系検体のおよそ2%がインフルエンザウイルス陽性で、ほとんどがインフルエンザウイルスA(H1N1)2009であったが、ILIの受診率は低い。ウルグアイでの全死亡におけるSARIの死亡率は一定で、5%を下回っている。しかしながら、集中治療室に入院するSARI症例の全ICU入院例における割合は、過去1カ月間増加傾向にある。

・アフリカ南部地域

南アフリカ共和国におけるインフルエンザの流行はピークを迎え、減少傾向に向かっているようだが、依然活動性は高い。国内の流行はインフルエンザウイルスA(H1N1)2009が中心で、ILI症例におけるインフルエンザウイルスの83%以上を占めている。インフルエンザウイルスA(H3N2)とインフルエンザウイルスB型はそれぞれ7.5%、3.8%であった。とりわけ、インフルエンザウイルスB型は入院に至る重症例の中で大きな割合を占めている(SARI症例における全インフルエンザウイルスの17%)。国立伝染病研究所による症例データの暫定的な解析に基づくと、2011シーズンのインフルエンザ陽性の入院患者における死亡率は、インフルエンザウイルスB型が最も多いウイルス株

であった2010シーズンより低い(3% vs. 9%($p=0.06$))。重症例の年齢分布は2010シーズンと類似しており、重症例の37%が2～4歳であった(2010シーズンは37%)。

重症例の他の30%は25～44歳であり、45歳以上はわずか19%であった。2011年ではこれまでにSARIの定点サーベイランスプログラムに登録された死亡例でインフルエンザウイルス陽性の4症例のうち、3例はインフルエンザウイルスA(H1N1)2009が陽性で、1例はインフルエンザウイルスB型が陽性であった。

・オーストラリア、ニュージーランド及び南太平洋諸国

ILIの受診数は、インフルエンザの検査確定例と共にオーストラリア全体で増加し続けており、特に南オーストラリア州、クイーンズランド州及びニューウェールズ州で顕著である。ウイルスの型は州によって異なっている。国全体では、インフルエンザウイルスA(H1N1)2009が検出されるウイルスの大半であるが、南オーストラリア州で検出されるウイルスの85%はインフルエンザウイルスB型であった。これらだけで、国全体として報告されているインフルエンザウイルスB型の大半を占めると考えられる。国家レベルのサーベイランスシステムに報告されたインフルエンザの確定症例数は、2010年シーズンの同時期よりさらに多い(2011シーズン5,640例、2010シーズン同時期1,088例)。ニュージーランドでは、国家全体のILI受診数はベースラインレベルを上回っていないが、いくつかの地方においては国全体の平均を超えていた。今週はインフルエンザウイルスB型が優位な株であり、次いでインフルエンザウイルスA(H3N2)であった。

【査読された(信頼できる)文献(peer-reviewed literature)より】

最近発表された研究では、パンデミック期間に報告されたインフルエンザウイルスA(H1N1)2009の罹患患者における重症化リスク因子の頻度と分布を評価している。リスク因子は、重症度を3段階すなわち入院、集中治療室入院、死亡に分けて評価している。年間一人当たりの入院のリスクで最も高かったものは、5歳未満及び5～14歳であった(相対危険度[RR]=3.3及び3.2、対一般人口)。年齢の増加は重症化と死亡のリスクの増加と関連する。罹患率は最高齢者群においては非常に低かったが、同群の入院例の分布を反映して、感染後の死亡のリスクは若年群より高かった。この研究では、インフルエンザウイルスA(H1N1)2009による重症感染症のリスク因子は、慢性疾患や妊娠を含む季節性インフルエンザと同様のものであることを示したが、さらに重症化のリスクとしての肥満を支持するいくつかのエビデンスを報告している。この研究は、重症化のリスクが最も高い群を守るためにワクチン接種と早期治療が必要であることを裏付ける形となった。

【ウイルス学的サマリー】

第25～26週(2011年6月19日～7月2日)では、インフルエンザの活動性は南半球のいくつかの国で高くなっていった。地域的なインフルエンザウイルスA(H1N1)2009の活動性がアルゼンチンで報告されており、ドミニカにおいてもインフルエンザウイルスA(H1N1)2009とインフルエンザウイルスB型の検査確定例が高い頻度で検出されている。アフリカにおいては、低いレベルのインフルエンザウイルスA(H3N2)やインフルエンザウイルスB型の流行に混在して、インフルエンザウイルスA(H1N1)2009の広範囲の活動性が南アフリカにおいて継続して報告されている。オセアニアでは、インフルエンザウイルスA(H1N1)2009とインフルエンザウイルスB型の検出報告がオーストラリアにおいて増加しており、ニュージーランドではインフルエンザウイルスB型のアウトブレイクが報告されている。南半球の他の国々ではインフルエンザウイルスA(H1N1)2009、インフルエンザウイルスA(H3N2)、インフルエンザウイルスB型の散発的な検出が報告されている。

北半球においては、インフルエンザウイルスA(H1N1)2009及びインフルエンザウイルスB型の地域的なアウトブレイクが報告されているカンボジアを除いて、インフルエンザウイルスA(H1N1)2009、インフルエンザウイルスA(H3N2)及びインフルエンザウイルスB型の検出は少ない。

最近検出報告された大部分のインフルエンザウイルスの抗原性は、2010～2011シーズンの北半球および2011シーズンの南半球のインフルエンザワクチンWHO推奨株に類似している。

第25～26週(2011年6月19日～7月2日)において、62の国と地域の国家インフルエンザセンター(NIC)のFluNetへの報告によれば、インフルエンザ陽性検体総数792のうち、602(76%)検体はインフルエンザウイルスA型、190(24%)検体はインフルエンザウイルスB型であった。インフルエンザウイルスA型のうち、61.3%はインフルエンザウイルスA(H1N1)2009、38.7%はインフルエンザウイルスA(H3N2)型であった。



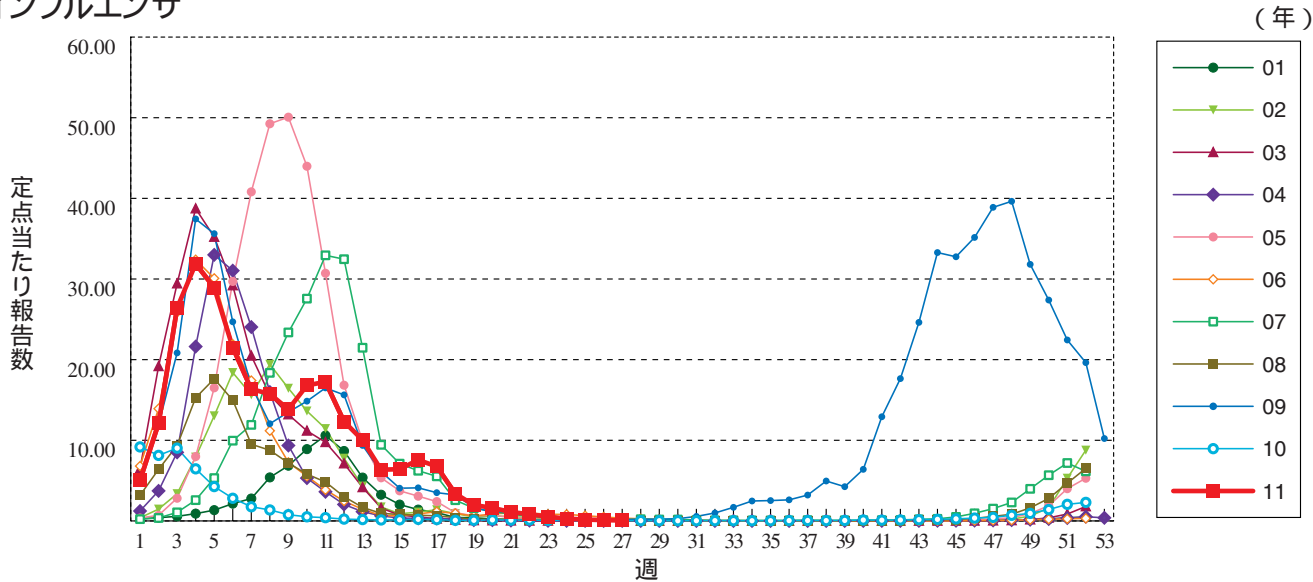
感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

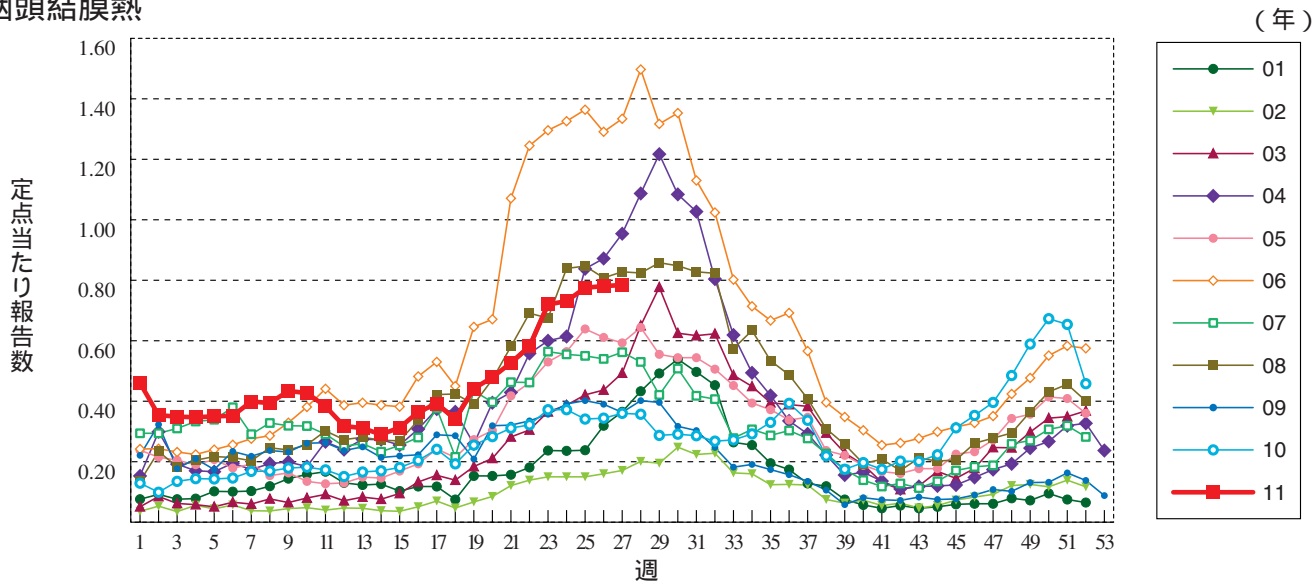


グラフ総覧(27週)

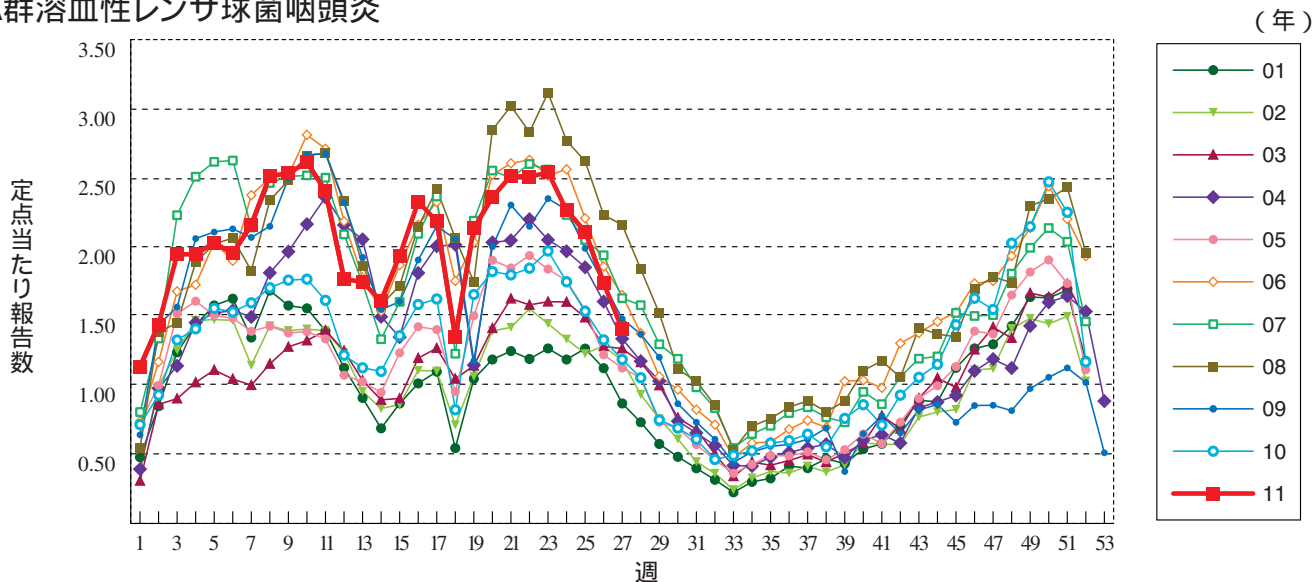
インフルエンザ



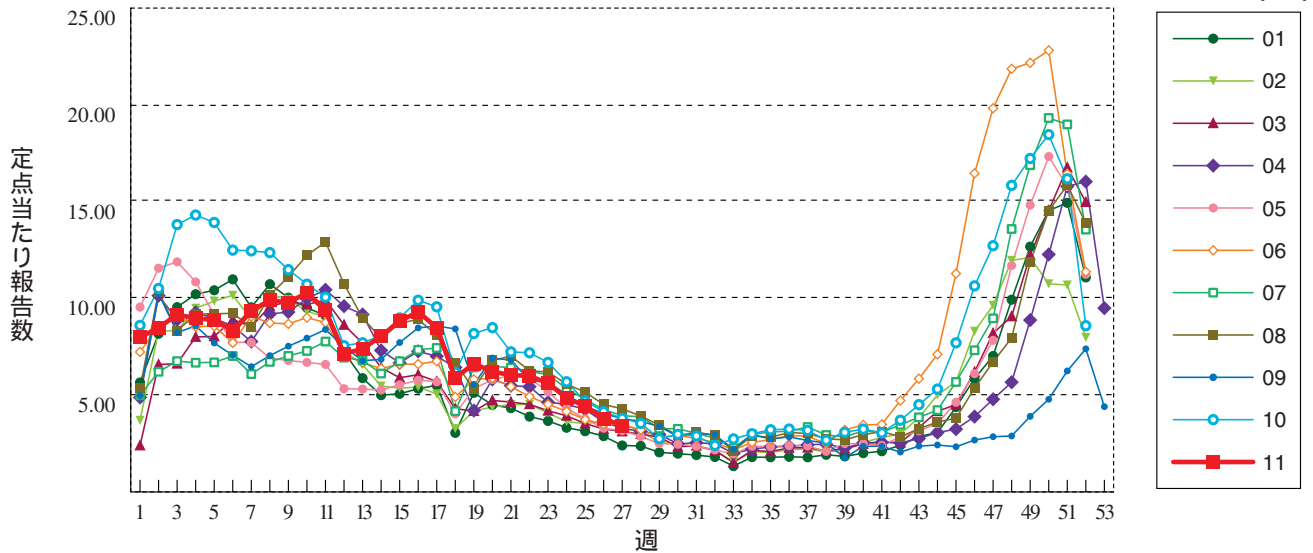
咽頭結膜熱



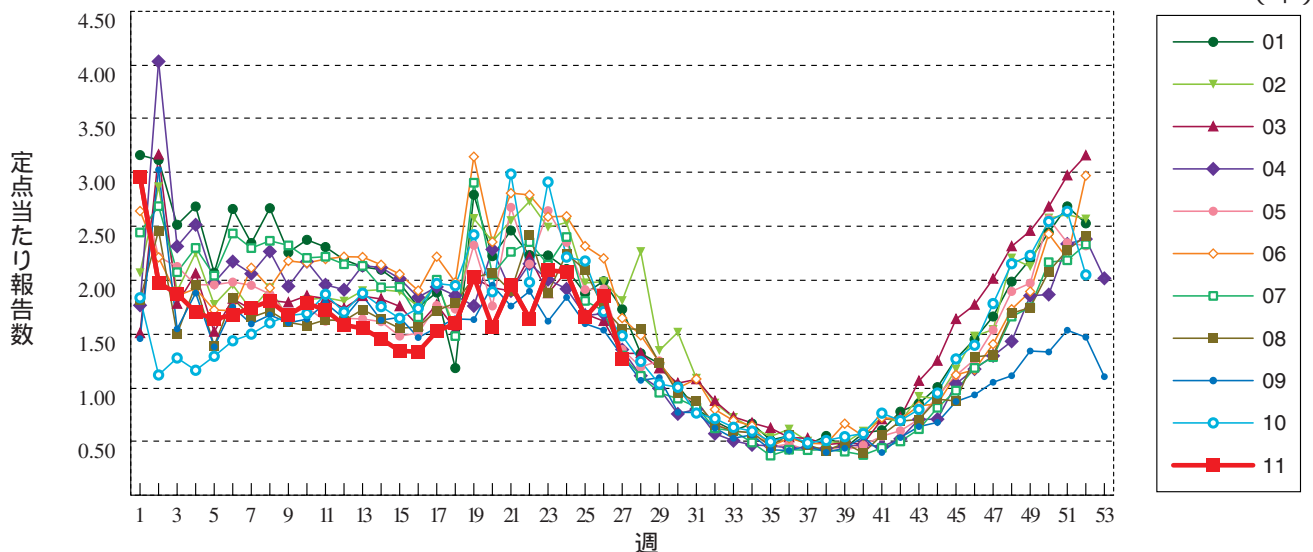
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



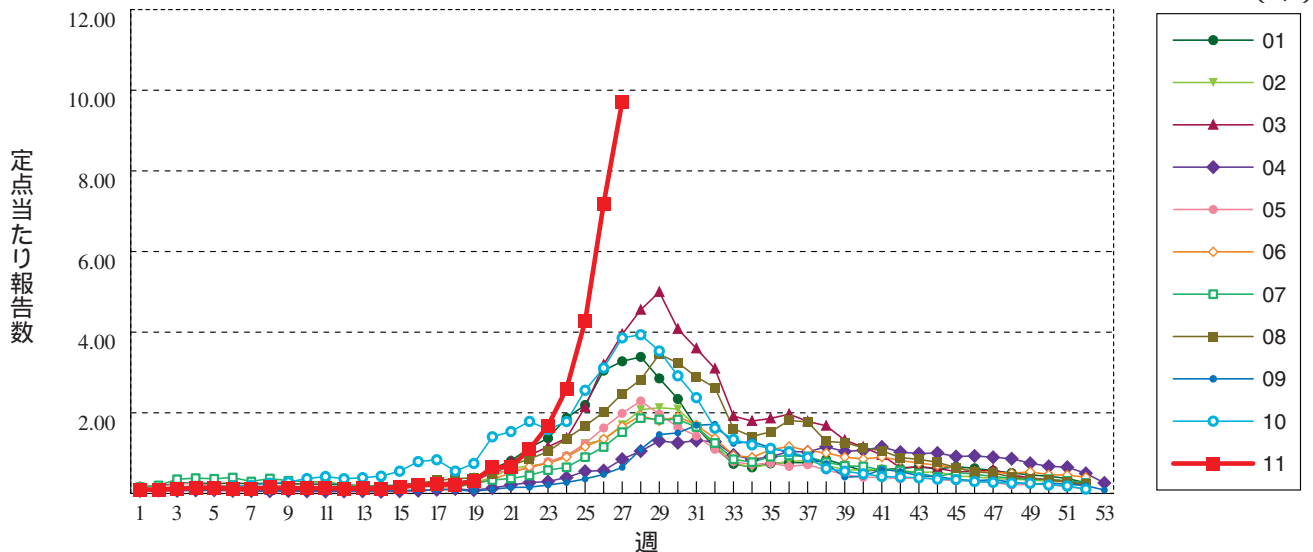
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



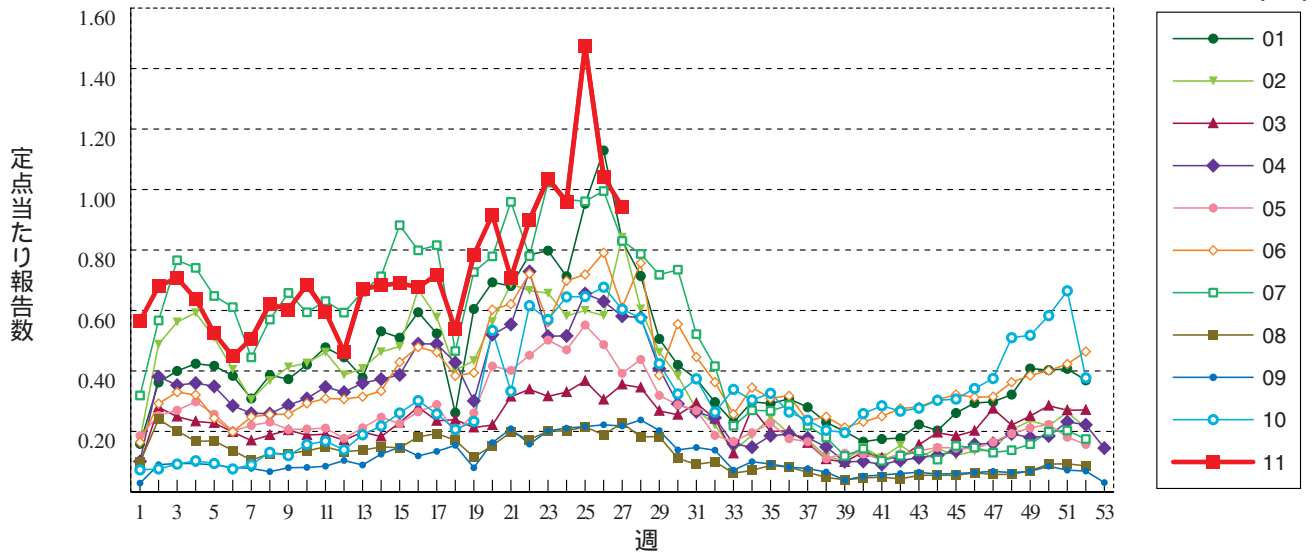
水痘



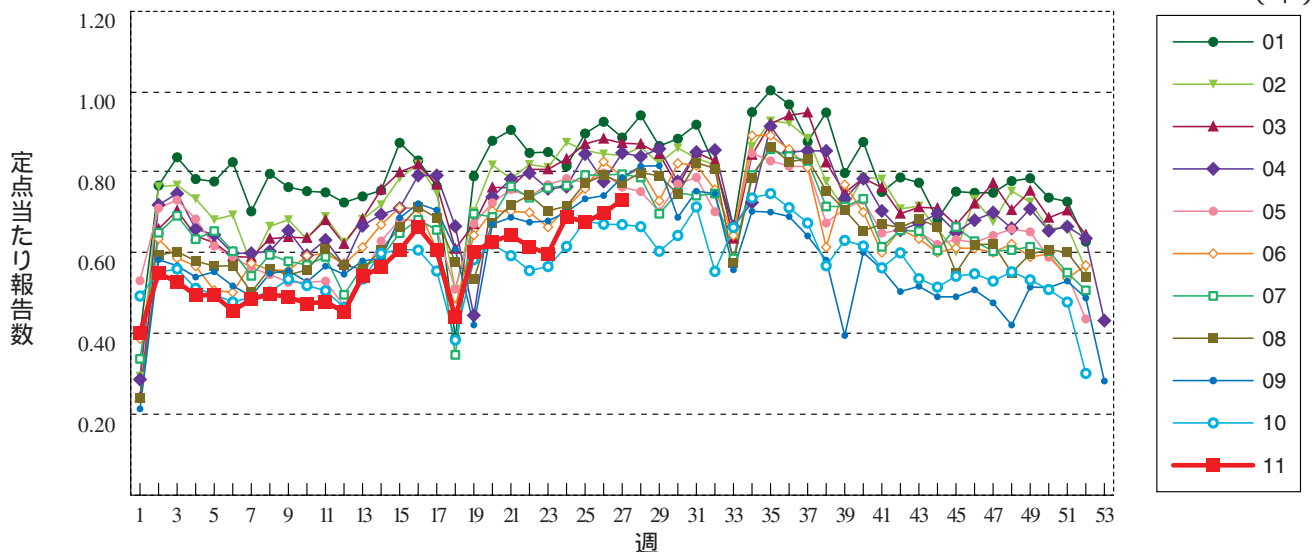
手足口病



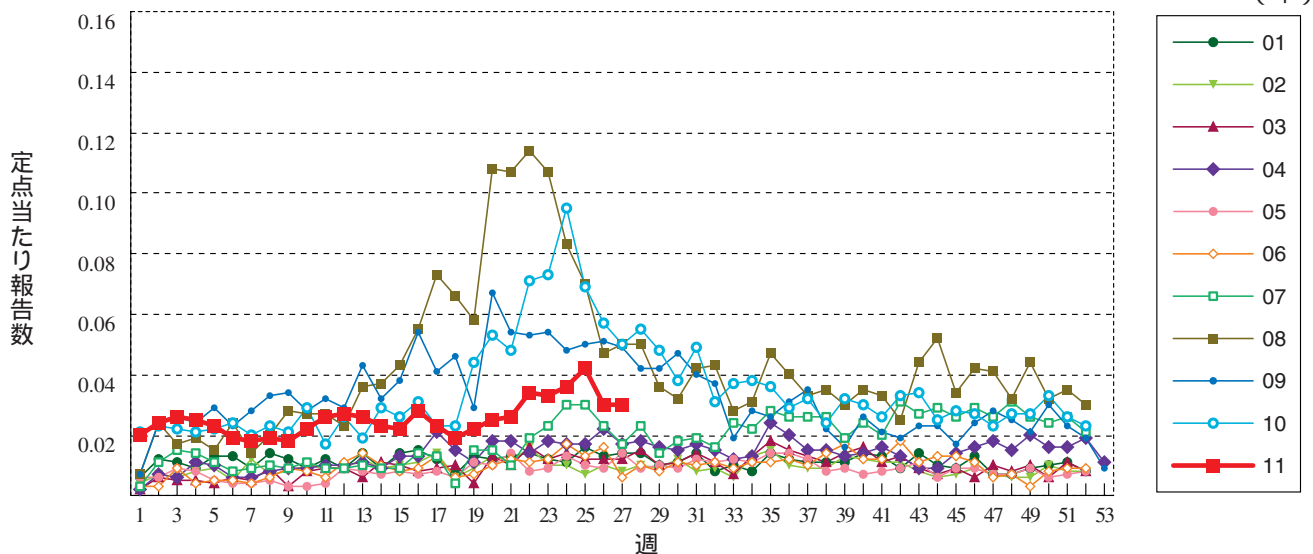
伝染性紅斑



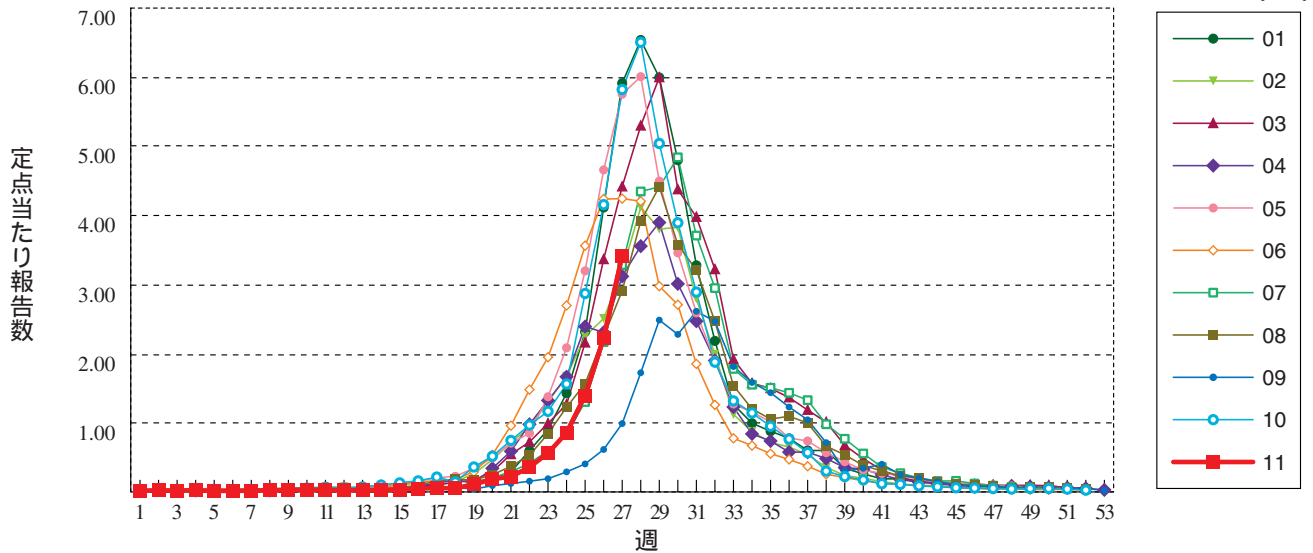
突発性発しん



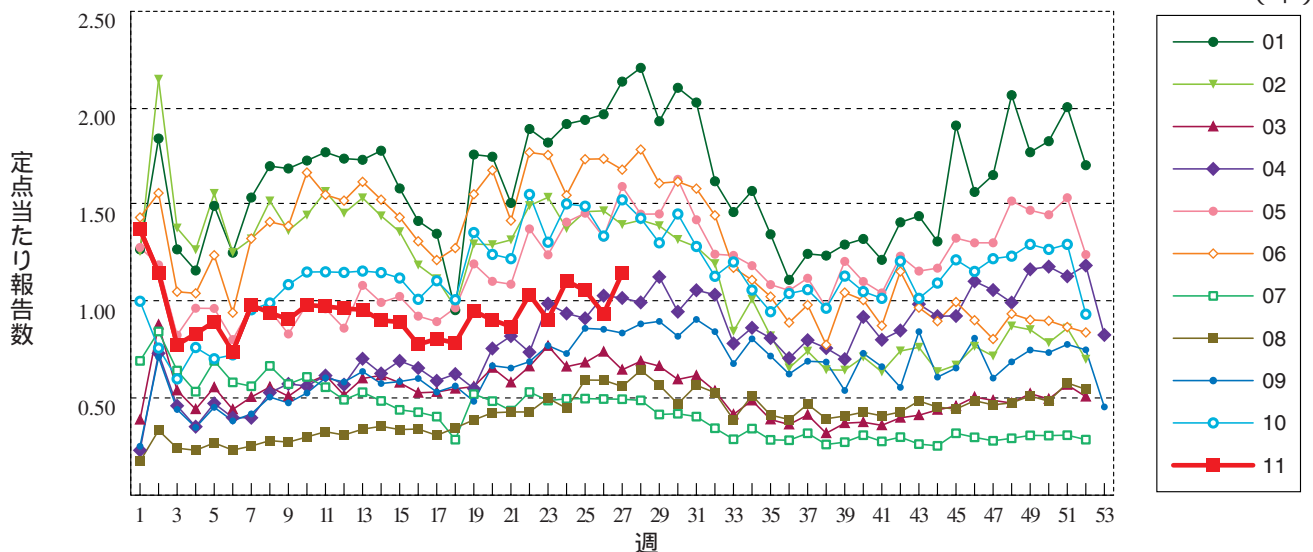
百日咳



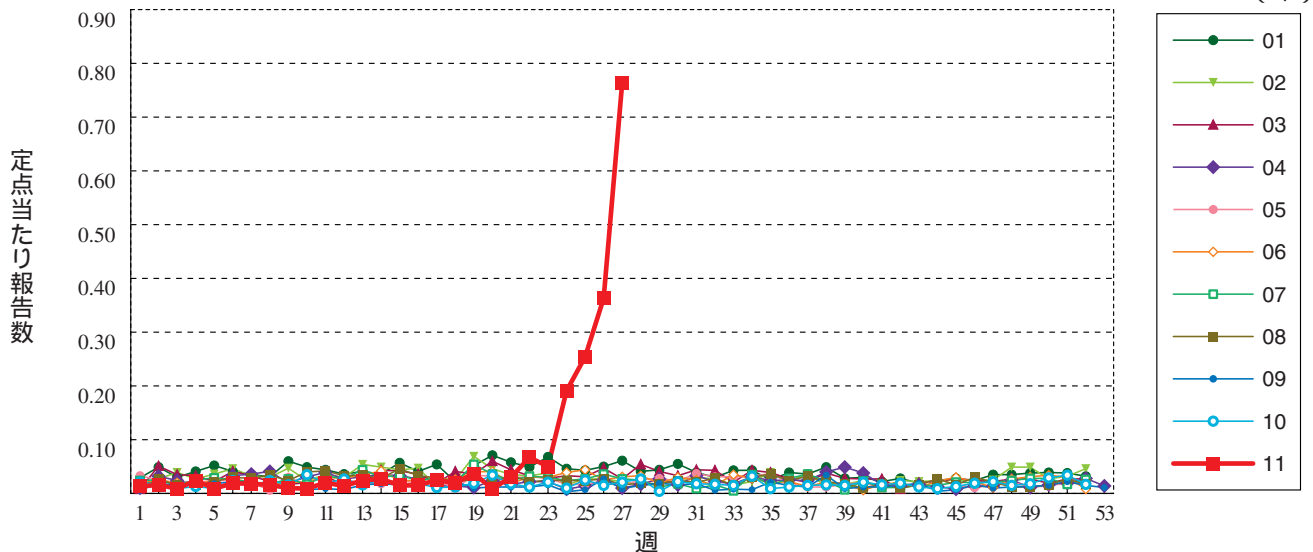
ヘルパンギーナ



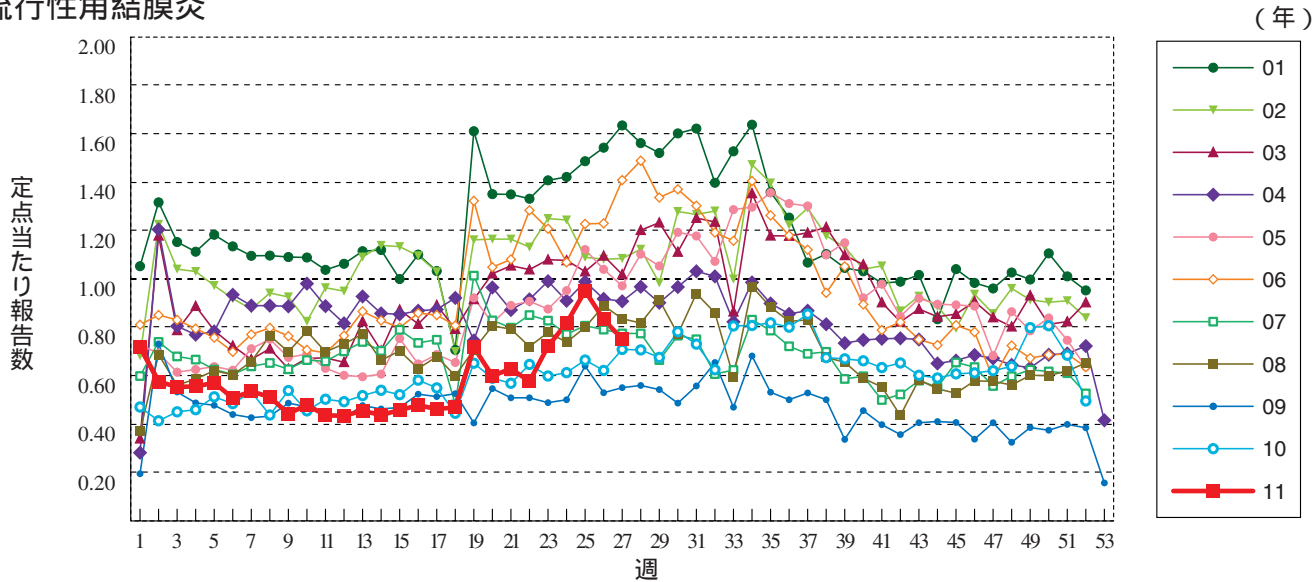
流行性耳下腺炎



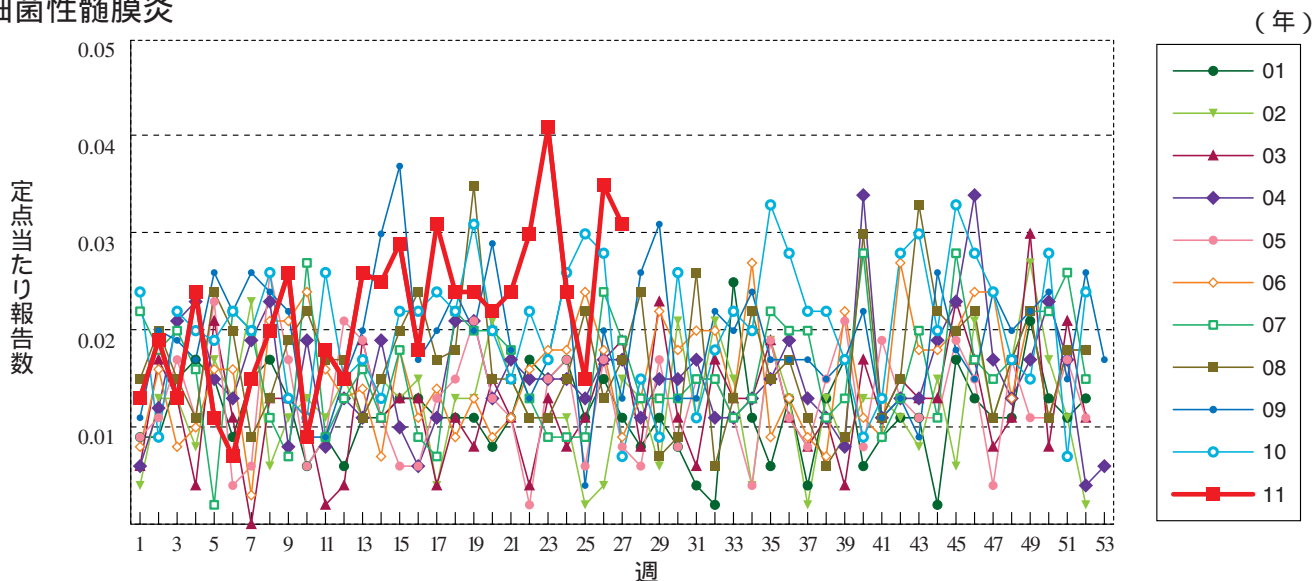
急性出血性結膜炎



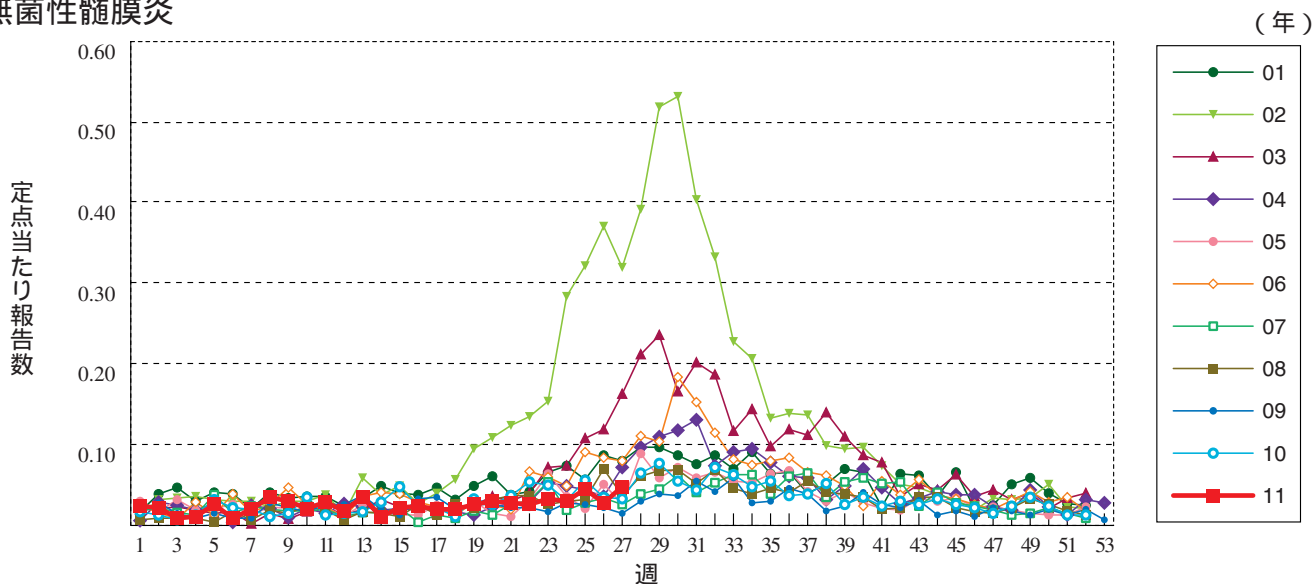
流行性角結膜炎



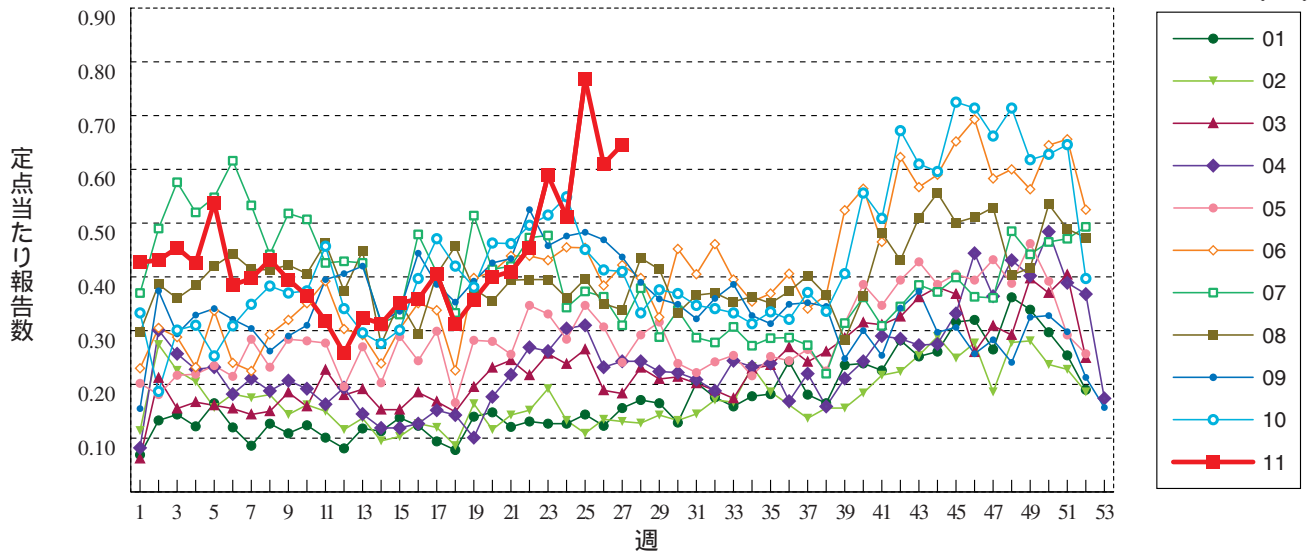
細菌性髄膜炎



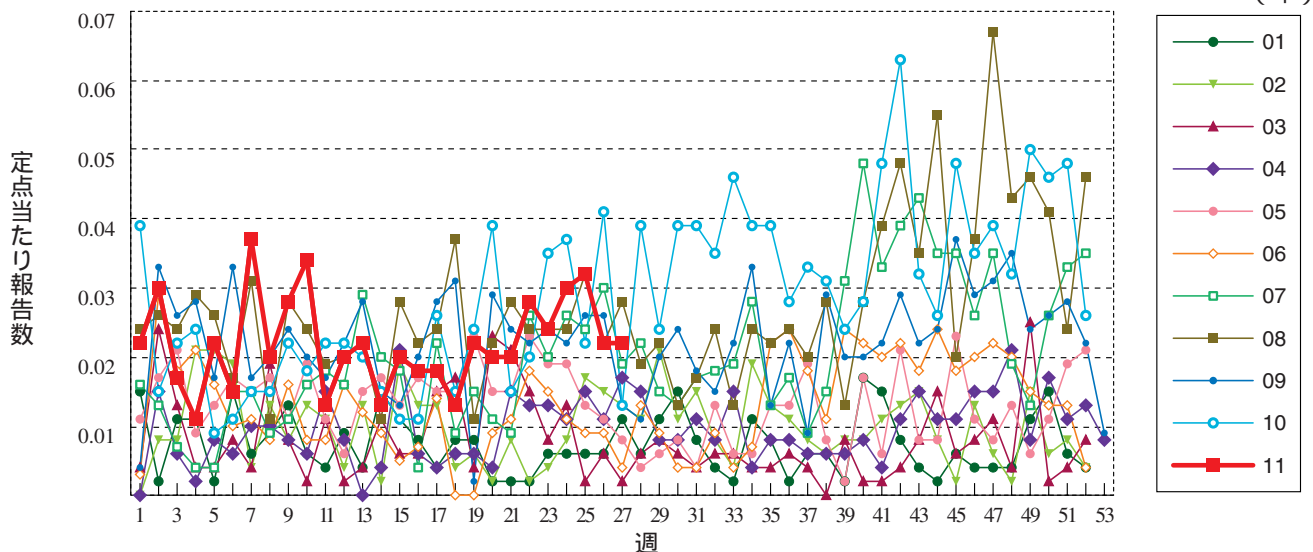
無菌性髄膜炎



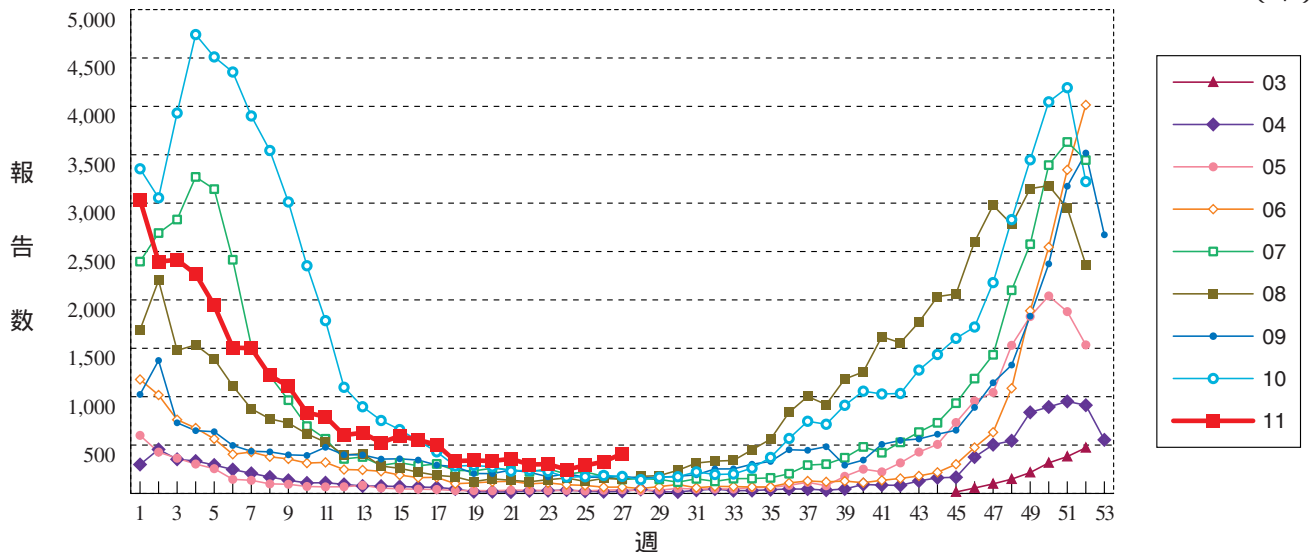
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





27週のデータ

注) 表中の報告数は7月13日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
 新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2011年27週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペ ス ト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	381	14947
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	542
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	196
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	79
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	166
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	99
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	144
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	148
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	316
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	167
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	107
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	760
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	750
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	54	2347
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37	1063
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	187
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	108
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	150
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	92
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	74
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	186
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	257
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	324
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28	1058
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	173
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	166
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	244
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	721
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	588
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	153
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	258
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	64
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	113
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	235
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	467
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	162
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	108
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	87
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	148
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	81
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	637
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	176
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	183
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	188
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	155
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	148
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	201
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	171

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年27週

	ジフテリア		重症急性呼吸器症候群*		鳥インフルエンザ (H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	2	2	4	103	102	1296	1	11	-	13	-	37
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	-	-	-	-	8
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	20	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4	1	20	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	6	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	206	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	19	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	15	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	9	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	29	-	1	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1	72	-	-	-	1	-	2
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	1	28	4	62	-	2	-	8	-	6
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	10	-	46	-	-	-	2	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	14	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	146	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	18	-	1	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	3	12	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	5	1	7	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	16	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	14	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	40	-	1	-	1	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	13	-	-	-	1	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	19	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	24	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	44	-	2	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6	42	-	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	11	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	69	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	26	-	-	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	19	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	8	57	1	2	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	32	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	1	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	34	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	25	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	8	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年27週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	1	131	-	11	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	49	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	1	20	-	1	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年27週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		チクングニア熱		つつが虫病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	152
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	8
東京都	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ H5N1 を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年27週

	デング熱		東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	3	45	-	-	-	-	-	-	2	35	-	1	-	-	-	-	-	-
北海道	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	1	11	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	1	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年27週

	ブルセラ症		ベネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	1	-	-	-	-	-	-	3	-	31	-	-	1	3	-	-	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	2	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	1	1	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2011年27週

	リフトバレー熱		類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山 紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプト スポリジウム症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	16	329	-	5	-	-	13	397	4	135	3	173	-	5
北海道	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	7	-	2	-	5	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	5	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
福島県	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	7	-	2	-	6	-	-
栃木県	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	5	-	1	-	7	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	4	-	2	-	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	2	17	-	-	-	-	1	17	1	5	-	12	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	28	-	5	-	15	-	-
東京都	-	-	-	-	-	27	-	3	-	-	3	86	1	24	-	9	-	2
神奈川県	-	-	-	-	2	21	-	-	-	-	1	30	-	7	-	9	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	1	6	-	1	-	10	-	-
富山県	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	3	-	3	-	1	-	-
石川県	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	6	-	2	-	5	-	-
岐阜県	-	-	-	-	2	11	-	-	-	-	-	7	-	1	-	2	-	-
静岡県	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	10	-	-	1	10	-	-
愛知県	-	-	-	-	1	17	-	-	-	-	2	18	-	5	-	8	-	-
三重県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	7	-	7	-	5	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	12	-	3	2	10	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	30	-	1	-	-	3	41	-	11	-	14	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-	19	1	10	-	9	-	-
奈良県	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	5	-	3	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	6	-	9	-	4	-	-
山口県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	2	-	3	-	2	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	5	-	3	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	14	1	6	-	3	-	-
佐賀県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	4	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	5	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	1	-	4	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	5	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年27週

	クローンツェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	59	2	126	21	725	-	35	-	7	-	1	11	379	3	57	-	-
北海道	-	3	-	5	-	11	-	-	-	-	-	-	-	12	-	3	-	-
青森県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	6	-	6	-	-
秋田県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
山形県	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	3	-	3	-	14	-	2	-	-	-	-	-	12	-	4	-	-
栃木県	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	10	-	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-
埼玉県	-	3	-	4	1	25	-	2	-	-	-	-	-	10	-	2	-	-
千葉県	-	4	1	5	-	26	-	1	-	1	-	-	-	11	-	1	-	-
東京都	-	9	-	19	6	200	-	7	-	2	-	-	7	106	-	5	-	-
神奈川県	-	1	-	7	2	44	-	3	-	-	-	-	-	22	-	1	-	-
新潟県	-	2	-	5	-	4	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
富山県	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	1	3	-	2	-	-
石川県	-	-	-	2	1	6	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-
福井県	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	2	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	2	-	5	-	1	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
岐阜県	-	1	-	2	-	11	-	1	-	-	-	-	1	7	-	1	-	-
静岡県	-	2	-	3	1	13	-	2	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
愛知県	-	-	1	9	-	53	-	3	-	-	-	-	-	28	-	2	-	-
三重県	-	-	-	1	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
京都府	-	2	-	2	-	6	-	2	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
大阪府	-	5	-	9	4	120	-	2	-	-	-	-	2	42	-	1	-	-
兵庫県	-	2	-	3	-	25	-	2	-	-	-	-	-	14	-	1	-	-
奈良県	-	1	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
和歌山県	-	1	-	2	1	6	-	1	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
岡山県	-	1	-	1	-	4	-	1	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-
広島県	-	2	-	3	-	17	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-
山口県	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
香川県	-	2	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
愛媛県	-	2	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
福岡県	-	3	-	15	1	24	-	-	-	1	-	-	-	16	-	2	-	-
佐賀県	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	1	-	4	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	6	-	-	-	2	-	-	-	5	1	6	-	-
鹿児島県	-	2	-	-	-	9	-	-	-	1	-	-	-	9	-	2	-	-
沖縄県	-	-	-	2	-	9	-	1	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2011年27週

	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		風しん		麻しん	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	29	7	242	13	353
北海道	-	-	-	18	-	5
青森県	-	1	-	-	-	3
岩手県	-	-	-	1	-	1
宮城県	-	1	-	1	-	2
秋田県	-	1	-	1	-	1
山形県	-	-	-	2	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	9	-	-
栃木県	-	1	-	1	-	7
群馬県	-	-	-	-	-	4
埼玉県	-	1	-	5	4	22
千葉県	-	3	-	7	-	24
東京都	1	2	-	18	1	152
神奈川県	-	4	1	50	2	38
新潟県	-	-	-	6	-	-
富山県	-	-	-	2	-	-
石川県	-	-	-	1	-	2
福井県	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	2
長野県	-	1	-	1	-	1
岐阜県	-	1	-	1	-	2
静岡県	-	-	-	4	-	3
愛知県	-	-	1	7	1	20
三重県	-	-	1	5	-	-
滋賀県	-	-	-	2	-	1
京都府	-	1	-	1	2	3
大阪府	-	3	-	38	-	7
兵庫県	-	1	-	5	2	12
奈良県	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	3
広島県	-	1	-	10	1	24
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	1	-	1
愛媛県	-	-	-	1	-	2
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	4	33	-	4
佐賀県	-	-	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	1	-	2
熊本県	-	2	-	2	-	-
大分県	-	-	-	2	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	1
鹿児島県	-	1	-	1	-	1
沖縄県	-	2	-	-	-	-

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2011年27週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	270	0.06	2461	0.78	4407	1.40	10764	3.43	3989	1.27	30506	9.72	2960	0.94	2298	0.73	93	0.03
北海道	9	0.04	146	1.02	352	2.46	275	1.92	291	2.03	304	2.13	200	1.40	71	0.50	-	-
青森県	3	0.05	13	0.32	16	0.39	81	1.98	53	1.29	123	3.00	28	0.68	26	0.63	-	-
岩手県	11	0.17	4	0.10	49	1.23	125	3.13	54	1.35	219	5.48	10	0.25	27	0.68	-	-
宮城県	6	0.06	13	0.22	78	1.32	290	4.92	93	1.58	164	2.78	17	0.29	48	0.81	1	0.02
秋田県	6	0.11	29	0.83	29	0.83	166	4.74	40	1.14	13	0.37	7	0.20	14	0.40	1	0.03
山形県	-	-	26	0.87	57	1.90	173	5.77	55	1.83	204	6.80	38	1.27	38	1.27	-	-
福島県	19	0.24	60	1.25	70	1.46	104	2.17	81	1.69	19	0.40	113	2.35	31	0.65	-	-
茨城県	9	0.08	52	0.69	97	1.29	133	1.77	74	0.99	44	0.59	86	1.15	35	0.47	2	0.03
栃木県	-	-	7	0.15	43	0.90	68	1.42	71	1.48	76	1.58	97	2.02	36	0.75	7	0.15
群馬県	-	-	67	1.10	66	1.08	218	3.57	56	0.92	30	0.49	93	1.52	44	0.72	3	0.05
埼玉県	1	0.00	274	1.72	373	2.35	681	4.28	186	1.17	413	2.60	281	1.77	137	0.86	5	0.03
千葉県	5	0.02	158	1.21	248	1.89	411	3.14	145	1.11	538	4.11	113	0.86	102	0.78	12	0.09
東京都	15	0.04	198	0.76	439	1.68	1083	4.13	292	1.11	1320	5.04	232	0.89	183	0.70	6	0.02
神奈川県	3	0.01	139	0.70	254	1.27	682	3.41	292	1.46	821	4.11	188	0.94	190	0.95	7	0.04
新潟県	-	-	74	1.23	101	1.68	158	2.63	61	1.02	16	0.27	25	0.42	38	0.63	-	-
富山県	-	-	47	1.62	54	1.86	110	3.79	17	0.59	16	0.55	10	0.34	18	0.62	-	-
石川県	-	-	8	0.28	55	1.90	80	2.76	36	1.24	59	2.03	26	0.90	18	0.62	-	-
福井県	5	0.16	22	1.00	44	2.00	132	6.00	26	1.18	357	16.23	8	0.36	20	0.91	1	0.05
山梨県	-	-	29	1.21	33	1.38	77	3.21	10	0.42	50	2.08	28	1.17	15	0.63	-	-
長野県	-	-	20	0.36	104	1.89	206	3.75	78	1.42	38	0.69	107	1.95	33	0.60	-	-
岐阜県	3	0.03	30	0.57	38	0.72	119	2.25	42	0.79	206	3.89	47	0.89	27	0.51	1	0.02
静岡県	-	-	136	1.62	129	1.54	290	3.45	136	1.62	842	10.02	124	1.48	67	0.80	2	0.02
愛知県	-	-	114	0.63	245	1.36	670	3.72	245	1.36	1508	8.38	232	1.29	147	0.82	4	0.02
三重県	1	0.01	56	1.24	46	1.02	209	4.64	74	1.64	311	6.91	30	0.67	31	0.69	1	0.02
滋賀県	3	0.06	70	2.19	41	1.28	83	2.59	35	1.09	440	13.75	14	0.44	30	0.94	-	-
京都府	6	0.05	53	0.72	52	0.70	188	2.54	68	0.92	709	9.58	38	0.51	27	0.36	1	0.01
大阪府	3	0.01	106	0.55	246	1.27	650	3.37	206	1.07	2759	14.30	154	0.80	129	0.67	6	0.03
兵庫県	-	-	74	0.57	115	0.89	456	3.53	125	0.97	3189	24.72	98	0.76	83	0.64	4	0.03
奈良県	-	-	28	0.80	21	0.60	70	2.00	44	1.26	192	5.49	28	0.80	13	0.37	1	0.03
和歌山県	-	-	10	0.32	20	0.65	71	2.29	32	1.03	306	9.87	25	0.81	25	0.81	-	-
鳥取県	-	-	18	0.95	29	1.53	51	2.68	23	1.21	173	9.11	5	0.26	7	0.37	-	-
島根県	-	-	8	0.35	10	0.43	103	4.48	24	1.04	323	14.04	16	0.70	18	0.78	-	-
岡山県	-	-	27	0.50	31	0.57	218	4.04	50	0.93	542	10.04	10	0.19	33	0.61	1	0.02
広島県	-	-	26	0.36	79	1.10	231	3.21	62	0.86	901	12.51	74	1.03	42	0.58	3	0.04
山口県	-	-	24	0.50	74	1.54	135	2.81	64	1.33	1285	26.77	21	0.44	44	0.92	3	0.06
徳島県	-	-	6	0.26	15	0.65	70	3.04	23	1.00	501	21.78	18	0.78	25	1.09	1	0.04
香川県	3	0.06	37	1.23	7	0.23	119	3.97	15	0.50	260	8.67	16	0.53	24	0.80	1	0.03
愛媛県	-	-	21	0.57	29	0.78	123	3.32	49	1.32	1146	30.97	35	0.95	30	0.81	-	-
高知県	-	-	11	0.37	65	2.17	79	2.63	26	0.87	134	4.47	7	0.23	12	0.40	-	-
福岡県	12	0.06	47	0.39	177	1.48	533	4.44	212	1.77	4915	40.96	39	0.33	113	0.94	9	0.08
佐賀県	5	0.13	17	0.74	29	1.26	25	1.09	25	1.09	972	42.26	26	1.13	18	0.78	1	0.04
長崎県	6	0.09	17	0.39	47	1.07	124	2.82	60	1.36	829	18.84	9	0.20	27	0.61	3	0.07
熊本県	2	0.03	20	0.42	42	0.88	210	4.38	63	1.31	1567	32.65	14	0.29	57	1.19	-	-
大分県	-	-	12	0.33	65	1.81	255	7.08	72	2.00	624	17.33	34	0.94	45	1.25	1	0.03
宮崎県	-	-	55	1.53	76	2.11	197	5.47	75	2.08	502	13.94	84	2.33	43	1.19	-	-
鹿児島県	35	0.38	33	0.60	94	1.71	160	2.91	83	1.51	435	7.91	46	0.84	44	0.80	-	-
沖縄県	99	1.71	19	0.56	23	0.68	72	2.12	45	1.32	111	3.26	9	0.26	13	0.38	5	0.15

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2011年27週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総数	10708	3.41	3599	1.15	518	0.76	510	0.75	14	0.03	22	0.05	296	0.65	10	0.02	411
北海道	437	3.06	103	0.72	1	0.03	12	0.41	-	-	-	-	5	0.22	-	-	106
青森県	10	0.24	80	1.95	-	-	4	0.36	-	-	-	-	15	2.50	-	-	-
岩手県	48	1.20	84	2.10	-	-	4	0.29	-	-	3	0.16	23	1.21	1	0.05	2
宮城県	160	2.71	80	1.36	-	-	4	0.33	-	-	-	-	20	1.67	-	-	5
秋田県	10	0.29	16	0.46	1	0.14	4	0.57	-	-	-	-	13	1.63	-	-	1
山形県	22	0.73	80	2.67	-	-	1	0.13	-	-	1	0.10	2	0.20	-	-	-
福島県	32	0.67	22	0.46	-	-	13	1.08	-	-	1	0.14	8	1.14	-	-	13
茨城県	103	1.37	79	1.05	-	-	15	0.88	-	-	-	-	5	0.38	-	-	-
栃木県	305	6.35	45	0.94	-	-	10	0.91	-	-	-	-	3	0.43	1	0.14	-
群馬県	128	2.10	81	1.33	-	-	18	1.20	-	-	2	0.25	2	0.25	-	-	1
埼玉県	476	2.99	86	0.54	1	0.02	26	0.63	-	-	-	-	8	0.89	-	-	9
千葉県	628	4.79	82	0.63	-	-	27	0.82	-	-	-	-	3	0.33	2	0.22	4
東京都	883	3.37	145	0.55	-	-	12	0.32	-	-	-	-	15	0.65	-	-	24
神奈川県	434	2.17	114	0.57	1	0.02	52	1.18	-	-	1	0.13	1	0.13	-	-	14
新潟県	75	1.25	134	2.23	-	-	9	1.00	1	0.08	-	-	10	0.83	2	0.17	6
富山県	14	0.48	29	1.00	-	-	1	0.14	-	-	-	-	7	1.40	-	-	1
石川県	31	1.07	21	0.72	-	-	2	0.29	-	-	1	0.20	2	0.40	-	-	5
福井県	55	2.50	6	0.27	-	-	-	-	1	0.17	-	-	2	0.33	-	-	-
山梨県	15	0.63	33	1.38	-	-	2	0.22	-	-	-	-	-	-	2	0.20	-
長野県	55	1.00	242	4.40	-	-	6	0.55	-	-	-	-	6	0.55	-	-	-
岐阜県	53	1.00	62	1.17	-	-	3	0.27	1	0.20	-	-	7	1.40	-	-	5
静岡県	237	2.82	110	1.31	-	-	24	1.20	-	-	-	-	5	0.56	-	-	1
愛知県	537	2.98	99	0.55	-	-	20	0.59	-	-	-	-	19	1.27	-	-	6
三重県	192	4.27	32	0.71	-	-	2	0.17	-	-	-	-	2	0.22	-	-	-
滋賀県	129	4.03	42	1.31	-	-	5	0.63	1	0.14	1	0.14	2	0.29	-	-	3
京都府	261	3.53	78	1.05	-	-	11	0.61	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	848	4.39	218	1.13	1	0.02	17	0.33	2	0.13	1	0.07	24	1.60	-	-	74
兵庫県	890	6.90	163	1.26	1	0.03	25	0.71	-	-	-	-	-	-	-	-	8
奈良県	66	1.89	8	0.23	-	-	2	0.22	-	-	1	0.17	-	-	-	-	2
和歌山県	129	4.16	22	0.71	-	-	4	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	8
鳥取県	72	3.79	50	2.63	-	-	5	1.67	1	0.20	-	-	3	0.60	-	-	-
島根県	61	2.65	23	1.00	-	-	2	0.67	1	0.13	3	0.38	1	0.13	-	-	-
岡山県	216	4.00	89	1.65	-	-	6	0.50	-	-	-	-	4	0.80	1	0.20	-
広島県	178	2.47	61	0.85	-	-	15	0.79	-	-	-	-	16	0.76	-	-	1
山口県	197	4.10	70	1.46	-	-	3	0.33	-	-	2	0.22	6	0.67	-	-	2
徳島県	194	8.43	35	1.52	-	-	1	0.25	-	-	-	-	2	0.40	-	-	2
香川県	156	5.20	53	1.77	-	-	4	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	204	5.51	120	3.24	-	-	17	2.13	-	-	-	-	12	2.00	-	-	3
高知県	68	2.27	13	0.43	-	-	3	1.00	-	-	-	-	2	0.29	1	0.14	-
福岡県	630	5.25	181	1.51	-	-	17	0.65	1	0.07	-	-	6	0.40	-	-	24
佐賀県	108	4.70	42	1.83	-	-	-	-	-	-	2	0.33	4	0.67	-	-	12
長崎県	95	2.16	52	1.18	-	-	1	0.13	-	-	1	0.09	13	1.18	-	-	2
熊本県	388	8.08	98	2.04	2	0.22	7	0.78	-	-	1	0.07	-	-	-	-	-
大分県	88	2.44	24	0.67	-	-	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	391	10.86	78	2.17	-	-	27	4.50	-	-	-	-	1	0.14	-	-	3
鹿児島県	383	6.96	196	3.56	-	-	11	1.57	-	-	-	-	3	0.25	-	-	14
沖縄県	16	0.47	18	0.53	510	51.00	55	5.50	5	0.71	1	0.14	14	2.00	-	-	48

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年27週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	70	1	13	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-		
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-		
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-		
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-		
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8		
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-		
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-		
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-		
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-		
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-		
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-		
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-		
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2011年27週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第13巻 第27号 2011年7月25日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
 < 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。